

官報

號外

明治四十二年三月三日

水曜日

印刷局

○第二十五回 帝國議會 衆議院議事速記錄第十四號

明治四十二年三月二日(火曜日)午後一時十九分開議

議事日程 第十三號 明治四十二年三月二日

午後一時開議

- 第一 砂鑛法案(政府提出) 第一讀會ノ續(委員長報告)
- 第二 登錄稅法中改正法律案(政府提出) 第一讀會ノ續(委員長報告)
- 第三 市町村立小學校教育費國庫補助法中改正法律案(政府提出) 第一讀會ノ續(委員長報告)
- 第四 沖繩縣罹災救助基金法案(政府提出) 第一讀會ノ續(委員長報告)
- 第五 造船獎勵法中改正法律案(政府提出) 第一讀會ノ續(委員長報告)
- 第六 遠洋航路補助法案(政府提出) 第一讀會ノ續(委員長報告)
- 第七 裁判所構成法中改正法律案(武田貞之助君提出) 第一讀會
- 第八 裁判所構成法中改正法律案(坂本彌一郎君提出) 第一讀會
- 第九 關稅定率法輸入稅表中改正法律案(千田軍之助君提出) 第一讀會
- 第十 關稅定率法輸入稅表中改正法律案(藤井善助君提出) 第一讀會
- 第十一 狩獵法中改正法律案(上野安太郎君提出) 第一讀會
- 第十二 衆議院議員選舉法中改正法律案(花井卓提出) 第一讀會ノ續(委員長報告)
- 第十三 衆議院議員選舉法中改正法律案(小泉又次郎君提出) 第一讀會ノ續(委員長報告)
- 第十四 衆議院議員選舉法中改正法律案(國井庫出提出) 第一讀會ノ續(委員長報告)
- 第十五 商法中改正法律案(松田源治君提出) 第一讀會ノ續(委員長報告)
- 第十六 印紙稅法中改正法律案(木村半兵衛君提出) 第一讀會ノ續(委員長報告)
- 第十七 大船渡鐵道鐵業補給ニ關スル建議案(阿部德三郎君外) 第一讀會ノ續(委員長報告)
- 第十八 園藝講習所設置ニ關スル建議案(松浦五兵衛君外) 第一讀會ノ續(委員長報告)
- 第十九 鐵道建設ニ關スル建議案(長崎登君外) 第一讀會ノ續(委員長報告)

第二十 地租輕減ニ關スル建議案(長崎登君外四)
第二十一 教育基金填補ニ關スル建議案(荒川五郎君外四名提出)

(委員長報告)

○議長(長谷川純孝君) 是ヨリ諸般ノ報告ヲ致シマス

(書記朗讀)

一政府ヨリ提出セラレタル議案左ノ如シ

明治四十一年法律第九號中改正法律案

耕地整理法改正法律案

一議員ヨリ提出シタル議案左ノ如シ

競馬法案

提出者 佐々木文一君 東 武君

宅地地價修正法案

提出者 大西五一郎君 西村 丹治郎君

地租條例中改正法律案

提出者 武田貞之助君 淺野 陽吉君

提出者 大西五一郎君 西村 丹治郎君

提出者 武田貞之助君 淺野 陽吉君

(左ノ報告ハ朗讀ヲ經サルモ參照ノタメ茲ニ掲載ス)

一去ル二月二十七日議長ニ於テ選定シタル委員左ノ如シ

種痘法案

長 晴 登君 八木 逸郎君

高山 長 幸君 高原 篤行君

山根 正次君 森田 俊左久君

町村制中改正法律案

神前 修三君 高橋 光威君

田邊 熊一君 中村 舜次郎君

駒田 小次郎君 後藤 文一郎君

村松 龜一郎君 高柳 覺太郎君

荒川 五郎君 豐增 龍次郎君

佐野 春五君 卜部 喜太郎君

萬國癩癬防會議ニ委員派遣ニ關スル建議案

阪 泰 碩君 青柳 信五郎君

木下 吉之丞君 安田 勳君

山根 正次君 飯田 精一君

北海道拓殖政策確立ニ關スル建議案

東 武君 白石 義郎君

江原 節君 篠井 甚吉君

花村 覺三郎君 西山 彰君

古賀 庸藏君 高田 露君 坂本 元明君
長谷川 豐吉君 井阪 光暉君 神保 東作君
小山内 鐵彌君 關 矢橋太郎君 根津 嘉一郎君
澤 來太郎君 淺 羽 靖君 橫田 虎彦君
小橋 榮太郎君 中村 豐次郎君 米田 穰君
近江谷 榮次君 關口 安太郎君 佐々木 安五郎君

生絲検査所擴張ニ關スル建議案
佐藤 虎次郎君 塚田 啓太郎君 高橋 嘉太郎君
安川 保次郎君 早川 龍介君 川崎 安之助君
中沼 信一郎君 板東 勘五郎君 太田 清藏君
田中 龜之助君 天野 董平君 平島 松尾君
津久居 彦七君 須藤 嘉吉君 木村 長君
高橋政右衛門君 堀谷 左治郎君 小寺 謙吉君

鑛業獎勵ニ關スル建議案
宮古 啓三郎君 戸狩 權之助君 橋本 次六君
鈴木 友治郎君 島田 保之助君 藏内 治郎作君
坪田 十郎君 吉植 庄一郎君 夏井 保四郎君
石郷岡 文吉君 的野 半介君 荒谷 桂吉君
福井 三郎君 矢島 浦太郎君 肥田 景之君
中村 豐次郎君 村松 恆一郎君 守屋 此助君

一委員長及理事左ノ通り當選セラレタリ
明治四十年年度豫備金支出ノ件外五件(承諾ヲ求ムル件)
委員長 中倉 万次郎君 理事 森本 駿君
印紙犯罪處罰法案委員會 花井 卓藏君 理事 原岡 永江君
種痘法案委員會 長 晴 登君 理事 東條 良平君
町村制中改正法律案委員會 神前 修三君 理事 荒川 五郎君
委員長 下 部 喜太郎君

鑛業獎勵ニ關スル建議案委員會
委員長 吉植 庄一郎君 理事 中村 豐次郎君
北海道拓殖政策確立ニ關スル建議案委員會
委員長 齋藤 珪次君 理事 矢島 浦太郎君
委員長 米田 穰君
生絲検査所擴張ニ關スル建議案委員會
委員長 佐藤 虎次郎君 理事 高橋政右衛門君

○議長(長谷川純孝君) 會議ヲ開キマス——請願委員會中電氣分解工業補助ノ件、特別調査委員會ヲ本會議中ニ開キタイト云フコトヲ委員長宮古啓三郎君ヨリ申

出ガアリマス、許可シテ御異議ハアリマセヌカ

〔「異議ナシ異議ナシ」ト呼フ者アリ〕

○議長(長谷川純孝君) 御異議ガナイト認メマスカラ許可致シマス——打狗築港速成ニ關スル建議案ノ委員會ヲ本會ノ時間中ニ開キタイト云フコトヲ委員長齋藤珪次君カラ申出ガアリマス、許可シテ御異議ハアリマセヌカ

〔「異議ナシ異議ナシ」ト呼フ者アリ〕

○議長(長谷川純孝君) 御異議ガナイト認メマスカラ許可致シマス——府縣制中改正法律案外一件ノ委員會ヲ本會ノ時間中ニ開キタイト云フコトヲ委員長花井卓藏君ヨリ請求ガアリマス、許可シテ御異議ハアリマセヌカ

〔「異議ナシ異議ナシ」ト呼フ者アリ〕

○議長(長谷川純孝君) 御異議ガナイト認メマスカラ許可致シマス——入江武一郎君病氣ノタメ昨一日ヨリ來ル十日マデ請假ノ願出ガアリマス、許可シテ御差支ハアリマセヌカ

〔「異議ナシ異議ナシ」ト呼フ者アリ〕

○議長(長谷川純孝君) 御異議ガナイト認メマスカラ、許可スルシトニ決シマス——鑛業獎勵ニ關スル建議案委員島田保之助君病氣ノタメ辭任ノ申出ガアリマス、許可シテ差支アリマセヌカ

〔「異議ナシ異議ナシ」ト呼フ者アリ〕

○議長(長谷川純孝君) 御差支ガナケレバ其補缺シテ武滿義雄君ヲ指名致シマス——鑛業獎勵ニ關スル建議案委員鈴木友治郎君、病氣ノタメ辭任ノ申出ガアリマス、許可シテ御差支アリマセヌカ

〔「異議ナシ異議ナシ」ト呼フ者アリ〕

○議長(長谷川純孝君) 御差支ガナケレバ其補缺シテ古賀庸藏君ヲ指名致シマス——昨日公報ヲ以テ御通知致シテ置キマス通り、十二歳未滿ノ兒童ハ傍聴ヲ禁止スルコトニシマシタカラ、諸君ノ御承認ヲ得テ置キマス

〔「異議ナシ異議ナシ」ト呼フ者アリ〕

○議長(長谷川純孝君) 先達佐々木君カラ御質問ノコトニ付テ御答ヲ致シテ置キマス、議長ハ其當時佐々木君ノ席ガ隔テ居ッテ、能ク聴取レナカッタノデアリマス、即チ佐々木君ハ議會ノ體面ト云ハレタノヲ、議場整理ノコト、間違ヘテ居ッタノデアリマスカラ、此段御答致シマス

○佐々木 安五郎君 唯今議長カラ先日私が議會ノ體面ニ關スル件ニ付發言ヲ求メマシタノヲ議場整理ト云フコトデ御差止メニナッタノハ間違ヒデアッタト云フコトデアリマス、人誰カ過ナカラ、過ヲ改ムルニ憚ルコト勿レデ、議長ハ男ヲシクサウ云ハレル以上ハ再ビ左様ナル過ヲナサヌヤウニト云フ希望ニ止メテ、此事件ハ是デ打切りマス

○議長(長谷川純孝君) 遠方デゴザイマスカラ、時ニ間違ガアルカモ知レマセヌ

〔拍手笑聲起ル〕

○議長(長谷川純孝君) 國勢調査實行ニ關スル質問ノ件、清盛太郎君

〔清盛太郎君登壇〕

○清盛太郎君 本員ハ多數同志諸君ノ賛成ヲ得マシテ國勢調査ノ實行ニ關スル質問書ヲ提出シテ置キマス、今最モ簡單ニ其趣旨ヲ説明シタイト思ヒマス、此國勢調査ノコトハ一國ノ狀態ヲ知リマス上ニ於テ最モ必要ノコトデアルト云フコトハ本員ガ申スマデモナイコトデゴザイマシテ、歐羅巴ノ各國並ニ北米合衆國ニ於キマシテハ古クカラ實

行セラレテ居ルノヲ見テモ明カナ事實デゴザイマス、獨逸、佛蘭西ノ如キハ各國五年毎ニ實行致シテ居リマス、又北米合衆國、英國、其他歐羅巴ノ各國ハ十年毎ニ施行致シテ居リマス、唯世界ノ著名ナル國ニ於テ未ダ國勢調査ヲ云フコトヲ實行シマセヌハ三ツアルノデアリマス、即チ露西亞ト支那ト我日本ノデアリマス、本員ハ此世界ノ一般的事業ガ他ノ二國ト共ニ未ダ我國ニ於テ實行セラレテ居ラヌト云フコトニ付テハ甚ダ遺憾ニ存スルコトデゴザイマス、尤モ我國ニ於キマシテモ讀者ノ間ニハ古クカラ國勢調査ノ必要ト云フコトガ唱ヘラレテ居リマシテ、現ニ明治二十九年ニ於テ此衆議院ニ丁度建議案ガ提出セラレマシタ、而シテ此建議案ハ大多數ヲ以テ通過致シマシタ、貴族院デモ亦同様大多數ヲ以テ通過致シマシタ譯デゴザイマス、而シテ之ヲ政府ニ送付致シマシタトコロガ、尙五六年經テモ何等ノ計畫モ政府ガ致サヌデアアル、仍テ二十四年ノ第十六議會ニ於テ調査ノ實行ニ關スル法律案ガ我衆議院ニ提出セラレマシタ、是亦多數ヲ以テ通過致シマシタ、貴族院モ同様通過致シマシタ、是ガ明治三十五年ニ同年法律第四十九號トナッテ發布セラレタデアリマス、其法律ニ依リマスルコト云フ「國勢調査ハ十年毎ニ一回帝國版圖内ニ施行ス第一回ハ明治三十八年ニ施行シ第二回ニ限リ第一回ヨリ起算シ滿五箇年ヲ以テ施行ス」斯ウ云フ規定ガシテアルノデアリマス、然レニ此第一回ヲ施行致シマス前年ニ當テ不幸ニシテ日露戰爭ノタメニ到底此國勢調査ノ如キモノヲ實行スル場合ニ參ラナイ、完全ナル調査ガ出來ナイト云フコトカ三十七年十一月召集セラレマシタ、第二十一議會ニ於テ此法律ノ改正案ガ提出セラレマシタ、其改正案ニ依リマスルコト云フ「國勢調査ノ時期ヲ定ムルコトハ勅令ヲ以テス」斯ウ云フ規定ニナッテ居ルノデアリマス、此改正案ノ當時ニ於テ衆議院ハ時局ニ鑑ミテ已ムヲ得ヌ是ニ贊成シマシタガ、貴族院ニ於キマシテハ大變ナ異議ガ出マシテ、或ハ條件ヲ付ケト云フヤウナ議論モ多數アッタデアリマスガ、免ニ大事件ヲ眼前ニ控ヘテ居ルト云フコト、此案ヲ通過致シマシタデアリマス、即チ是ガ現在ノ法律トナッテ居ル次第デアリマス、前ニ法律ノ改正ヲ致シマス精神ハ全ク此日露戰爭ノタメニ餘儀ナクセラレタト云フコトデアルガタメニ平和恢復ノ後ハ直チニ國勢調査ヲ實行スルコト云フコトハ政府ガ院議ヲ重シズル上ニ於テモ、亦國民ノ希望ヲ容ルル上ニ於テモ最モ適當ノ處置ト本員ハ考ヘル、去リナガラ爾來五六年ヲ經過スル今日ニアデモ、政府ハ何等ノ勅令ヲモ發布シナイ、國勢調査ノ必要ト云フコトニ付テハ何等ノ手續モ執ッテ居ラナイ、政府ハ此國勢調査ト云フコトヲ元來不必要ト認メテ居ルデアアルカ、本員ハ左様ニ信ジナイデアアル、然ラバ財政ノ都合若クハ其結果ニ對シ危ムト云フガタメニ今日マデ延バシテ居ルデアアルカ、財政ト雖モ多數ノ金ヲ之ニ要シナイデアアル、僅ニ數百萬圓ヲ以テ應ズルコトガ出來ルノデアリ、國民ハ此必要ナル經費ヲ支出スルコト云フコトニ於テ、必ズ躊躇スルモノデナカラウト本員ハ信ズルデアアル、又其結果ニ付キマシテハ國勢調査ニ先ジテ東京市ガ實行致シマシタル市勢調査ニ付テモ、明カナル事實デアルト本員ハ信ズル、マダ市勢調査ハ終末ヲ告ゲマセヌケレドモ、今日ノ結果ヲ見マスルコト云フコト割合ニ少ナイ費用ヲ以テ割合ニ大ナル結果ヲ得ツ、アルノデアリマス、之ニ依ッテモ國勢調査ヲ全國ニ行タトコロデ、必ズ實行ヲ見ルコトガ出來ルト本員ハ信ズルデアアル、幸ヒ丁度明年及明後年ニ互リマシテ、亞米利加及ヒ、歐羅巴ノ各國ハ悉ク國勢調査ヲ致スデアリマス、故ニ本員ハ今日ノ好時機ニ於テ直チニ此著手ヲ準備ヲ致シマシテ、明年後レテモ明後年ニ於テ世界ノ各國ト共ニ國勢調査ヲスルコト云フコトガ本員ノ希望デアリマス、本員ハ此希望ニ於テ政府ガ國勢調査ヲ何年ニ實行スルカト云フコトヲ承ハリタイデアアル、本員ノ質問ノ要點ヲ申上ゲマスレバ「國勢調査ノコトハ當テ法律ヲ以テ規定セラレタルニ拘ハラズ政

府ハ今尙實行スベキ勅令ヲ發セズ右ハ其必要ヲ認メザルニ依ルカ若シ然ラズトセバ何レノ年ヨリ之ヲ實行スルノ精神ナルヤ」ト云フニアルデアリマス、政府ハ本員ノ希望ニ副フ如キ、明確ナル答辯ヲ與ヘラレコトヲ望ミマス(拍手起ル)

○議長(長谷場純孝君) 議事日程第一砂鑛法案政府提出第一讀會ノ續委員長報告、第二登錄稅法中改正法律案、政府提出第一讀會ノ續、第一第二同一委員長ニ付託セラレテアリマシタカラ、併シテ委員長ヨリ報告ヲ……大井ト新君

第一 砂鑛法案(政府提出)

第一讀會ノ續(委員長報告)

(大井ト新君登壇)

○大井ト新君 砂鑛法案ノ委員會ノ結果ヲ報告致シマス、再三再四委員會ヲ開キマシタガ詰リ修正ヲ致シマシタ決議ヲ致シマシタ、其修正ハ第十二條ノ「砂鑛權者他人ノ土地ニ於テ砂鑛ヲ採取セントスルハ土地所有者者地上權者永小作權者又ハ土地ニ對シ使用ノ權利ヲ有スル者ハ之ニ對シテ相當ノ補償金ヲ請求スルコトヲ得」斯ウ云フ修正ヲ致シマシタ、是ハ原案トハ意味ハ變ラナイ、唯字句ヲ修正シマシタケデス、サウシテ第二十三條ニ第十六條鑛業法ノ本文ニ準ズル、第十六條此鑛業法ニ準ズルコト云フコトニ修正致シマシタ、是ハドウカト云フト鑛業法ノ第十六條不可分ト云フ字ガアルノデス、唯ツレダケノコトデス、之ニ依ッテ滿場一致ヲ以テ決議致シマシタ、此段御報告致シマス

○議長(長谷場純孝君) 先ヅ日程ノ第一砂鑛法案ノ第二讀會ヲ開クヤ否ヤ

(委員長報告通り異議ナシト呼フ者アリ)

○恆松隆慶君 直チニ第二讀會ヲ開カレンコトヲ望ミマス

○議長(長谷場純孝君) 直チニ第二讀會ヲ開クト云フ恆松君ノ動議ニ御異議ガアリマセヌカ

(異議ナシ異議ナシト呼フ者起ル)

○議長(長谷場純孝君) 直チニ第二讀會ヲ開キ、其議案全部ヲ議題ニ供シマス

砂鑛法案 第二讀會

○大井ト新君 今唯チヨット失念致シマシタガ、登錄稅法中改正案モ原案ノ通り決シマシタ、此段御報告致シマス

○伊藤大八君 議會ヲ省略シテ直チニ第三讀會ヲ……

(異議ナシト呼フ者アリ)

○議長(長谷場純孝君) 三讀會ヲ省略シ、二讀會ニ於テ委員長ノ報告通りト云フコトニ御異議ハアリマセヌカ

砂鑛法案 確定議

(異議ナシ異議ナシト呼フ者起ル)

○議長(長谷場純孝君) 御異議無イト認メマスカラ、委員長報告通り決シマス、是ニテ本案ハ確定致シマス、日程第二登錄稅法中改正法律案

第二 登錄稅法中改正法律案(政府提出) 第一讀會ノ續(委員長報告)

○大井ト新君 是モヤハリ其前ノ法案ニ續イテ同ジコトデアリマスカラ、是モ原案通り決議ヲ致シマシタ、此段報告致シマス

○議長(長谷場純孝君) 二讀會ヲ開クヤ否ヤ
○大岡育造君 直チニ二讀會ヲ開キ、三讀會ヲ省略シテ確定セラレンコトヲ希望シマス

〔異議ナシ異議ナシ〕「ノ聲起ル」

○議長(長谷場純孝君) 大岡君ノ動議、直チニ二讀會ヲ開キ三讀會ヲ省略シテ
即チ二讀會ヲ直チニ開クト云フコトニ御異議アリマセヌカ

〔異議ナシ異議ナシ〕「ノ聲起ル」

登録税法中改正法律案

第二讀會

○議長(長谷場純孝君) 御異議ハ無イト認メマスカラ、直チニ第二讀會ヲ開キ議案
全部ヲ議題ニ致シマス、而シテ三讀會ヲ省略シテ確定スルト云フコトニ御異議アリマセ
ヌカ

〔異議ナシ異議ナシ〕「ト呼フ者アリ」

登録税法中改正法律案

確定議

〔異議ナシ異議ナシ〕「ト呼フ者アリ」

○議長(長谷場純孝君) 委員長報告通リト云フコトニ御異議ハアリマセヌカ

〔異議ナシ異議ナシ〕「ノ聲起ル」

○議長(長谷場純孝君) 御異議無イト認メマスカラ、委員長報告通リニ決定致シマ
ス、本案ハ是ニテ確定致シマス、日程第三、市町村立小學校教育費國庫補助法
案中改正法律案、第一讀會ノ續委員長根本正君

第三 市町村立小學校教育費國庫補助法
中改正法律案(政府提出貴族院送)

第一讀會ノ續(委員長報告)

〔根本正君登壇〕

○根本正君 諸君、市町村立小學校教育費國庫補助法中改正法律案、本案ノ委
員會ノ經過及結果ヲ御報告ヲ致シマス、本案ハ第三條ニ於キマシテ是マデハ此補助
金額一百万圓ト云フモノヲ、學齡兒童ノ數ニ依テ各縣ニ交付シタモノデアリマス、然
ルニ此改正案ハ學齡兒童ノ數ニアラスシテ、正教員ノ數ニ依テ交付スルコトニ改正ニナ
タリマス、此コトニ付キマシテハ政府委員モ出席サレマシテ、慎重ニ審議ヲシテ
ツレノ質問モ致シマシタ、何故ニ是マデ學齡兒童ニ依テ割振ツタモノヲ、此度正教員
ノ數ニ依テ變更スルカト云フ質問ガゴザイマシタガ、之ニ對シテ政府ノ答辯ハ是マデハ學
齡兒童ノ出席數ト云フモノガ初メノ中ニハ七十五「プロセント」トカ、八十「プロセント」位
デアリマシタノガ、現今ハ即チ學齡兒童ノ出席數ト云フモノハ九十七「プロセント」位
ニ完全ナル譯ニ至ツタ、故ニ學齡兒童ノ出席ノ獎勵ヨリモ、是カラハ良イ教員ヲ雇フヤ
ウニシタイ、即チ正教員ヲ殖ヤシタイト云フ方針デ、此補助ノ方針ヲ變ヘヤウト云フヤウ
ナ譯デアリマシテ、學齡兒童ノ數デナク、正教員ノ數ニ依テ割振ルコトニナツタデアリ
マス、尙之ニ付テ質問モ出マシタガ、正教員ノ數ニ依テ割振ルコトニナツタデアリ
ニハヤラヌカト云フ質問モ出マシタ、併シ其割振ハ正教員ノ數ニ依テ割振ルコトニナツ
員其他ニモ割振ルト云フコトデ、國庫ノ補助ノ性質ニ於テ相當ノモノト致シテ委員會ハ
原案ノ通り可決致シマシタ、茲ニ一言附加ヘテ委員會ノ模樣ヲ申上ゲマスガ、委員中
ニ全體此法律ト云フモノハ第十三議會ニ於テ小學校國庫補助法案ガ出マシテ授業料
ヲ全廢スル國庫補助法案ガ出マシタガ、其法案ハ町村費ヲ減ズルタメニ國庫カラ出ス譯

デアル、ツレバ年功加俸ニ向ケルト云フハ元ノ性質ニ背イテ居ルデハナイカト云フ質問モ
出マシタガ、政府デハ尙此上財政ノ餘裕ガアルヤウニ至ツタナラバ、元ノ第十三議會ニ
決セラレタ法案ノ如クニシタイガ、如何セン今日ノ場合ハ此金ヲ年功加俸ノ方ニ向ケ
テ居ルト云フコトデアリマシテ政府委員ニ於テモ市町村ノ此費用ヲ國庫ノ支辨ニシタイ
コトニ付テハ反對ハアリマセヌカ、後來ハ大ニ注意ヲシテ、益、國庫補助ト云フコトニ重キ
ヲ置クコトニ注意ヲ促シテ、サウシテ、滿場一致テ可決致シマシタ、此段報告致シマス
○大岡育造君 本案ハ直チニ第二讀會ヲ開キ、二讀會ニ於テ讀會ヲ省略シテ委員長
報告通リ可決セラレンコトヲ望ミマス

〔異議ナシ〕「ト呼フ者アリ」

市町村立小學校教育費國庫補助法中改正法律案

第二讀會

○議長(長谷場純孝君) 御異議ナシト認メマスカラ其通リニ決シマス、議案全部ヲ議
題ニ供シマス、尙大岡君ノ動議ノ如ク三讀會ヲ省略シテ委員長報告通リ可決致スコ
トニ御異議アリマセヌカ

市町村立小學校教育費國庫補助法中改正法律案

確定議

〔異議ナシ〕「ト呼フ者アリ」

○議長(長谷場純孝君) 御異議ナシト認メマスカラ、其通リ決シマス、本案ハ是ニテ
確定致シマス、日程第四、沖繩縣罹災救助基金法案第一讀會ノ續矢島中君

第四 沖繩縣罹災救助基金法案(政府提)

第一讀會ノ續(委員長報告)

○矢島中君 本案ハ極メテ簡單ナルモノデアリマスカラ此席ニ於テ御報告ヲ致シマ
ス、本案ハ諸君ノ御承知ノ通り從來各府縣ニ施行セラレテ居ツタコロノ法律デアリ
マス、獨リ沖繩縣ニハ此法律ガ施行サレテ居ラナカッタデアリマス、ト云フモノハ沖繩縣
ニハ未ダ自治制ガ布イテナイ、ツレ故ニ此法律ガ未ダ施行サレテ居ラナカッタデアリマ
ス、本年四月ニハ沖繩縣ニモ自治制ヲ布カレルコトニナリマス、此法律ノ必要ヲ
生ジテ參リマシタデアリマス、デ委員會ヲ開クコト一回、政府委員ニ質問ヲシ、慎重審
議ノ結果、本案ハ原案ノ通り、委員會ニ於テハ滿場一致ヲ以テ可決致シマシタ、本會
ニ於テドウカ可決アランコトヲ望ミマス

○大岡育造君 本案モ直チニ二讀會ヲ開キ、讀會ヲ省略シテ委員長報告通リ可決
セラレンコトヲ希望致シマス

〔異議ナシ〕「ト呼フ者アリ」

沖繩縣罹災救助基金法案

第二讀會

○議長(長谷場純孝君) 御異議ナシト認メマスカラ、直チニ二讀會ヲ開キマス、議案
全部ヲ議題ニ供シマス、而シテ尙三讀會ヲ省略シテ委員長報告通リ可決シテ御異議
アリマセヌカ

沖繩縣罹災救助基金法案

確定議

〔異議ナシ〕「ト呼フ者アリ」

○議長(長谷場純孝君) 御異議ナシト認メマスカラ其通り決シマス、本案ハ是ニテ確定シマシタ、日程第五、造船獎勵法中改正法律案第一讀會ノ續、日程第六、遠洋航路補助法案第一讀會ノ續、此日程第五第六ハ同一委員ニ付託ニナリテ居リマシタカラシテ、一括シテ委員長ヨリ報告サレヤウニ致シマス、委員長鳩山和夫君

第五 造船獎勵法中改正法律案(政府提 第一讀會ノ續(委員長出))

(鳩山和夫君登壇)

○鳩山和夫君 諸君、日程ノ順序ニ依リマシテ造船獎勵法中改正案ヨリ報告ヲ致シマス、委員會ニ於ケル経過等ハ此委員會ニハ速記ヲ附シテアリマシタカラ、諸君モ御承知ト考ヘマスカラ結果タケ御報告致シマス、造船獎勵法中改正案ニ付キマシテハ第三條ニ付テ武田君カラ修正ノ意見ガアリマシタ、即チ「金十一圓以上乃至金二十二圓」トアル、此「二」ヲ削ルト云フ修正案アリマシタガ、是ハ少數テ否決サレマシタ、即チ全部原案ノ通りニ委員會ニ於テハ可決スベキモノト認メマシタ、遠洋航路補助法案ニ付テ御報告ヲ致シマス、本案ハ第一條ニ於テ委員會ニ於テハ修正ヲ加フベキモノト認メマシタ、其主意ハ原案ハ遠洋航路ニ付キマシテ運送業ヲ營ム商事會社ト契約ヲナスコトヲ主務大臣ニ委任スルト云フ趣意ニ於テ起案ニナッタノデアル、サリナガラ委員會ニ於テハ是ハ主務大臣ニ委任スベキモノニアラズシテ、ヤハリ豫算外國庫ノ負擔タルベキ契約ヲナス事柄デアラルカランシテ、帝國議會ニ此協贊權ヲ留保スルヲ相當トスルト云フ意見デ、文案ハ更ニ鄭重ヲ盡シマシテ、委員中ニ於テ武富時敏君、西村丹治郎君、奥繁二郎君御三君ヲ舉ゲテ此三君ニ唯今述ベマシタ主意ニ於テ文案ヲ起草スルコトヲ依託致シマシタ、其結果報告セラレタ文案ハ斯様ニナリマシタ「第一條 主務大臣ハ帝國臣民又ハ帝國臣民ノミヲ社員若クハ株主トスル商事會社ニシテ運送業ヲ營ムモノニ本法ニ依リ航海補助金ヲ支給シ五年以内ノ期間ヲ限リ左ノ遠洋航路ニ於テ定期航路ニ從事セシムルコトヲ得但シ補助金額及年限ニ付テハ帝國議會ノ協贊ヲ求ムヘシ」先刻大趣意ヲ報告スルトキニ年限ノコトヲ洩ラシマシタガ、原案ニハ三年以上十年以下ノ期間トアルノヲ、委員會ニ於テハ最低度ヲ定メズ、最長期ヲ五年ト極メテ五年以内ト云フコトニ極メルノヲ相當ト致シマシテ、唯今朝讀シマシタ通りニ決定致シタノデアリマス、其他ハ總テ委員會ニ於テハ原案ノ通りニ決定致シマシタ、サリナガラ第九條ニ付キマシテハ少數意見ガアルノデ、是ハ少數意見ヲ代表セラル、御方カラ後刻御報告ニナルコト、信シマスカラ、唯少數意見ノアルト云フコトダケヲ茲ニ報告致シテ置キマス

○議長(長谷場純孝君) 先ヅ日程ノ第五、造船獎勵法中改正法律案第一讀會ノ續ヲ議題ニ供シマス

○大岡育造君 本案ハ直チニ二讀會ヲ開キ二讀會ニ於テ讀會ヲ省略シ、委員長報告通りニ可決セラレントヲ希望シマス

(「贊成々々」ト呼フ者アリ)

○議長(長谷場純孝君) 大岡君ノ動議ノ如ク、本案ハ直チニ二讀會ヲ開クト云フコトニ御異議ハアリマセヌカ

(「異議ナシ異議ナシ」ト呼フ者アリ)

○議長(長谷場純孝君) 御異議ガナシト認メマスカラ其通り決シマス——直チニ二讀會ヲ開キテ議案全部ヲ議題ニ供シマス

造船獎勵法中改正法律案 第二讀會
○議長(長谷場純孝君) 大岡君ノ動議ノ如ク三讀會ヲ省略シテ、二讀會ニ於テ委員長報告通りト云フコトニ御異議ハアリマセヌカ

造船獎勵法中改正法律案 確定議

(「異議ナシ」ト呼フ者アリ)

○議長(長谷場純孝君) 御異議ガナシト認メマスカラ其通り決シマス、本案ハ是ニテ確定致シマシタ、日程第六、遠洋航路補助法案第一讀會ノ續小川平吉君——少數意見見テ……

第六 遠洋航路補助法案(政府提出) 第一讀會ノ續(委員長出)

○小川平吉君 私ハ通告シテハナイ積リデアリマス

○西村丹治郎君 第九條ニ修正ノ少數意見ヲ提出シテ居リマス、コレヲ唯今述ベマシテ宜シウゴザイマスカ

○議長(長谷場純孝君) 少數意見ハ此場合御述ベニナリテ宜カラウト思ヒマス

○西村丹治郎君 コレデハ當席ヨリ述ベマス、第九條第一項中「本店若クハ支店」トアルノヲ「本店支店若クハ代理店」ト斯ウ修正スル動議ヲ提出致シマス

○議長(長谷場純孝君) 少數意見ニ定規ノ贊成者ガゴザイマスカ

(「贊成々々」ト呼フ者アリ)

○議長(長谷場純孝君) 定規ノ贊成者ガアルト認メマスカラ……

○恆松隆慶君 マダ二讀會ニ移ラヌデハゴザイマセヌカ、是ハ全部ノ意見デハナイト思ヒマス、ドウカ一讀會ニ移シテカラ願ヒマス

○鳩山和夫君 委員會ニ於キマシテハ少數意見ヲ提出スルダケノ數ガアッタノデアリマス——委員會ニ於テハ……

○議長(長谷場純孝君) 少數意見ハサウナッテ居リマス、小川平吉君、西村丹治郎君、小寺謙吉君、武富時敏君、森正君、武田貞之助君、大内暢三君……

○大岡育造君 唯今朝讀場ノ大勢ヲ見マスルニ、簡條ニ付テノ修正ノ少數意見ハアリマスケレドモ、本案全體ニ付テハ異論ハナイヤウデアリマスカラ、先ヅ是ハ二讀會ニ附セラレントヲ希望シマス

(「贊成々々」ト呼フ者アリ)

○議長(長谷場純孝君) 二讀會ヲ開クヤ否ヤト云フコトヲ御諮リ致シマス

(「贊成々々」異議ナシ)ト呼フ者アリ

○大岡育造君 唯今ノ少數意見ニ付テ此所カラ意見ヲ申シマス

○議長(長谷場純孝君) 直チニ二讀會ヲ開クト云フ動議デアリマスカ

○大岡育造君 直チニ二讀會ヲ開クト云フ動議ハ先刻提出シタ積リデアリマスガ、今新タニ明カニ致シマス

○議長(長谷場純孝君) 直チニ二讀會ヲ開クト云フ、大岡育造君ノ動議ニ御異議ハゴザイマセヌカ

(「異議ナシ異議ナシ」ト呼フ者アリ)

○議長(長谷場純孝君) 御異議ガナシト認メマスカラ直チニ二讀會ヲ開キ、而シテ議案全部ヲ議題ニ供シマス

遠洋航路補助法案 第二讀會
○大岡育造君 少數意見モ多少ノ道理ハアラウト思ヒマスケレドモ、世界各國ニ涉ッテ營業ヲスル場合ニハ、代理店位ハ融通ノ利クヤウニシテアル方ガ宜カラウト私ハ思ヒマス

ヲ、原案通り二讀會ニ於テハハリ可決致シタイト思ヒマス、原案ト云フノハ即チ委員長ノ報告ノ通り、而モ讀會ヲ省略シテ直チニ確定サレコトヲ希望シマス

〔贊成ト呼フ者アリ〕

○議長（長谷場純孝君） 併シ此議案全部ヲ讀題ニ供シマスケレドモ、少數者ノ意見ハ第九條ノミニ少數意見デアリマス、サウシテ此第九條ノ修正意見ニハ定規ノ贊成者ガアルト認メマスカラ、先以テ之ヲ採決致シマス、即チ少數者ノ意見、第九條ノ修正意見ニ同意ノ諸君ノ起立ヲ請ヒマス

起立者 少數

○議長（長谷場純孝君） 少數、他ハ委員長ノ報告通り御異議ハアリマセヌカ

〔異議ナシ異議ナシト呼フ者アリ〕

○議長（長谷場純孝君） 御異議ガナイト認メマスカラ、委員長報告通りニ決シマス、而シテ第三讀會ヲ省略シテ、本案ハ第二讀會ニ於テ確定ト云フコトニ御異議ハアリマセヌカ

遠洋航路補助法案

確定讀

〔異議ナシ異議ナシト呼フ者アリ〕

○議長（長谷場純孝君） 御異議ガナイト認メマスカラ其通り決シマス、本案ハ是ニテ確定致シマス、日程第七、裁判所構成法中改正法律案ノ第一讀會ヲ開キ、議案ノ朗讀ヲ省略シマス、提出者武田貞之助君

第七 裁判所構成法中改正法律案（武田貞之助君外 第一讀會 七名提出）

裁判所構成法中改正法律案

第四十條中「五人」ヲ「三人」ニ改ム

第四十一條中「五人」ヲ「三人」ニ改ム

又ハ五人」ニ改ム

第五十三條中「七人」ヲ「五人」ニ改ム

〔武田貞之助君登壇〕

○武田貞之助君 諸君、此改正案ナルモノハ——裁判所構成法ノ改正案ナルモノハ純然タル司法の専門ノ問題デアリマス、諸君モ御承知ノ如ク現行ノ裁判所構成法ニ於キマシテハ、第一審ガ三人ノ判事、控訴審ハ五人ノ判事、第三審即チ大審院ガ七人ノ判事ヲ以テ裁判所ヲ組織致シマシテ、裁判ヲ致シテ居ルノデゴザイマス、此點ニ對シマシテ此改正法案控訴院以上ヲ各一人ツ、判事ノ數ヲ減ズルト云フ意見デアルノデアリマス、言葉ヲ換ヘテ申シマスルト、現行法律ノ下ニ於キマシテハ控訴院ノ判事が五人デアリマス、之ヲ三人ニ變更シテ、大審院ノ判事ハ七人ノ多キデアリマス、之ヲ五人ニ變更スルト云フコトコロ、案デアリマス、幸ニ諸君ノ御贊同ヲ得マシテ、此案ガ通過致シマスレバ、直チニ斯ウ云フ結果ガ生ズルノデアリマス、即チ大數ニ申シマスレバ大審院ノ判事ニ八名バカリノ餘裕ガ生ズルノデアリマス、又控訴院ノ判事ニ於キマシテ通過シテ約七十名前後ノ餘裕ガ生ズルノデアリマス、更ニ之ヲ俸給即チ金高ノ點カラ申シマスルト云フト、七万圓前後ノ餘裕ガ生ズルノデアリマス、金額ノ點ニ於テ餘裕ガ生ズルノデアリマス、左様致シマシテ改正案ノ理由ヲ簡單ニ申シマスルト、諸君モ御承知ノ通り他ノ行政官廳、即チ司法省以外ノ行政官廳ニ於キマシテハ上級ニ至リマスル程、即チ上ニ上ホ

リマスル程、官吏ノ數ガ少ナリマシテ多額ノ俸給ヲ取ル者ガ少ナルノデアリマス、恰モ三角形ノ形ニナルノデアリマスガ、獨リ司法官衙ニ於キマシテハ上級ニ參リマスル程多額ノ俸給ヲ取ルコトコロ、官吏ガ多クナシテ來ルノデアリマス、即チ恰モ三角形ノ逆ニシタ如キ形ニナラシメテ參ルノデアリマス、尤モ官省ノ性質ガ違ヒマスカラシテ斯クナルノデアリマスケレドモ、免ニ他ノ行政官廳トノ比較權衡ガ取レテ居ラヌノデアリマス、續イテ又諸君、諸君ガ司法裁判所ニ向テ問題ヲ提出セラレテ（簡單ニ願ヒマス）ト呼フ者アリ）簡單ニ申シマス、長ク申シマス、一時間位掛リマスケレドモ、私ハモウ十分間位デシマヒマス、最モ不愉快ニ感シマスルノハ澤山ナ時間ヲ費サレマシテ、訴ガ出マシテ判決ヲ得ルマデノ間ニ澤山時間ヲ要スル點デアリマス、是ハ諸君ト共ニ甚ダ遺憾ニ存スル點デアリマス、所ガ諸君モ實際上御承知ノ通り、裁判所ノ事務ニ於キマシテ漫リ二時間ヲ要シマス、所ガ彼ノ證據調即チ證人調等ノ關係デアリマス、所ガ證人調ノ如キモノハ申サバ唯單ニ一人ノ判事デモ取調ガ出來ルノデアリマスガ、現在ノ制度ノ下ニ於キマシテハ五人ノ多キ、即チ五人ノ判事が列席シナケレバ開ケナイコトニナラシメ居ルノデアリマス、所ガ此案ガ通過致シマレバ三人ノ判事ヲ開キマシテ其殘リノ二人ハ又他ノ一人ノ判事ヲ加ヘテ、裁判所ヲ構成スルコトガ出來マスカラ、非常ニ時間ヲ省クノデアリマス、又諸君ヨ諸君モ御承知ノ如ク裁判所ヘ證人調ニ呼バレマシテ非常ニ長イ時間ヲ待タサレハ、ソレハドウカト云フト裁判所ハ五人ノ判事が出揃ハナケレバ構成サレナイ、開廷ガ出來ナイカラ病氣其他ノ事故ノタメニ長ク待タサレハノデアリマス、又或ル場合ニ於キマシテハ裁判官ノ病氣ノタメニ裁判所ガ構成サレナイデ、延期サレハコトガアル、所ガ此案ガ通過致シマスレバ僅カ三人ノ開廷ガ出來ルノデアリマスカラ、其點カラ見マシテ非常ニ裁判事務ノ進捗ヲ助ケルノデアリ、斯ウ云フコトニナルノデアリマス、左様致シマシテ此案ハ突如トシテ本員等ガ多數ノ贊成ヲ得テ提出シタルノデアリマス、諸君ガ曩キニ協贊ヲ與ヘラレマシテ司法法律ノ改善ヲ圖ラレタメニ法典調查會ナルモノヲ設ケラレタデアリマス、其法典調查會ノ意見ハ即チ本案デアルノデアリマス、之ヲ要スルニ裁判所ノ構成ヲ變更シマシテ、組立ヲ變更シマシテ、最モ迅速ニ判決ヲ得マシテ、又俸給即チ金額ノ點ニ於テ餘裕ヲ得マシテ、サウシテ人オヲ司法部内ニ向テ吸收致シタイト云フニアルノデアリマス、諸君ハ曩キニ商法民法等ノ立派ナル法典ニ協贊ヲ與ヘラレ、昨年ハ又刑事法典ニ向テ改正ヲセラレテ、即チ協贊ヲ與ヘラレテ、現ニ實施サレタアルノデアリマス、完全ナル光輝アル法典ヲシテ益、其長所、益、其妙味ヲ發揮セシメンタメニハ、本案ノ通過ガ最モ必要ナルモノデアリマス、此故ニ本案ヲ提出シタ次第デアリマス、速ニ御贊同ヲ賜ハラントコトヲ切ニ希望シテ止マスノデアリマス

○恒松隆慶君 本案ハ九名ノ委員、議長指名アランコトヲ望ミマス

〔贊成ト呼フ者アリ〕

○議長（長谷場純孝君） 恒松隆慶君ノ動議ノ如ク、本案ハ議長指名ノ委員九名ニ付託スルト云フコトニ御異議ハアリマセヌカ

〔異議ナシト呼フ者アリ〕

○議長（長谷場純孝君） 御異議ナイト認メマスカラ其通り決シマス、日程第八、裁判所構成法中改正法律案、第二讀會、議案ノ朗讀ヲ省略シマス、提出者阪本彌一郎君

第八 裁判所構成法中改正法律案

一名提出

裁判所構成法中改正法律案（阪本彌一郎君外 第一讀會 一名提出）

裁判所構成法中改正法律案

第一讀會

第一讀會

第一讀會

第一讀會

第一讀會

第一讀會

第一讀會

第一讀會

第一讀會

第一讀會

第一讀會

第一讀會

第一讀會

第一讀會

第一讀會

第一讀會

第一讀會

第一讀會

第一讀會

第一讀會

第一讀會

第一讀會

第一讀會

第一讀會

第一讀會

第一讀會

目次第二編第一章中「準備及」ヲ削ル
第二十五條中「又ハ豫備判事」ヲ削ル
第三十二條中「且豫備判事ハ如何ナル事情アルモ二人以上其ノ部ニ列席スルコトヲ得ス」ヲ削ル
第二編第一章中「準備及」ヲ削ル
第五十七條乃至第六十四條 削除
第六十五條 三年以上帝國大學法科教授若ハ辯護士タル者ニ限り判事又ハ
檢事ニ任セラル、コトヲ得

○坂本彌一郎君 武田君カラ說明致シマス
○武田貞之助君 簡單デアリマス此席カラ述ベマス
○議長(長谷場純孝君) アナタガ御說明ニナルデアリマス
○武田貞之助君 サウデス
○議長(長谷場純孝君) 武田貞之助君

○武田貞之助君 極ク簡單デアリマス、此案ハ裁判所ノ判事檢事ヲ辯護士ヲ二年致シテ民間ノ事情ニ詳シキ者カラ採ル、沒常識ノ裁判ナカラシメンガタメニ辯護士カラ採ルト云フ案デアリマス、或ハ此精神ヲ敷衍致シマシタラ多少ノ議論ガ出テ來マスケレドモ、理由ノ骨子ハ右申シタ點ニアルデアリマス、速ニ御贊成ヲ賜ハランコトヲ希望致シマス
○富島陽夫君 私ハ提案者三質問ヲ致シタイト思ヒマス、此裁判所構成法ノ五十七條カラ六十四條ヲ削リマシタ結果、判檢事ナルモノハ大學ノ教授ヲ除ケタ以外デハ辯護士ヲ居ラナケレバイカナイト云フコトニナツデアリマスガ、果シテサウ云フコトニナレバ、此案ノ目的ヲ達セラル、カ達セラレヌカト云フコトニ付キマシテ本員ハ疑ハ懷イテ居ルデアリマス、ソレハドウ云フ譯カト申シマス、現時ノ裁判官ノ待遇ト云フモノハ他ノ行政官ニ比較シテ非常ニ薄イデアリマス、此程僅ニ増俸案ガ通過致シマシタケレドモ、是トデモ僅ナコトデゴザイマシテ、待遇ヲ厚クシタトハ言ヘナイ、ソレデ裁判官ヲ希望スルト云フ者ガ大變少イデアリマス、寧ロ裁判官ノ方カラ辯護士ノ方ヘ志シテ手腕ヲ振フ形ニナツテ居ル、然ルニ之ヲ辯護士ノ方カラ採ルト云フ案デアリマスガ、果シテ提出者ハ豫定ノ人員ヲ得ラレ見込ガアルデアリマセウカ、ナイノデアリマセウカ、其見込ニ付テ同ヒタイ、ソレカラ第二ニハ縱シテ豫定ノ人員ガ得ラレト致シマシテモ其最短期ヲ二年以上トシタノハ短キニ失スルト思フデアリマス、何トナラバ僅ニ辯護士試験ニ及第シタホヤ、辯護士ガ二年又三年ノ事件ガドシ、來ル譯ノモノデナイ、サウ致シマスルト云フト、僅ニ學校ヲ出テ辯護士試験ニ及第シタ人ガ、唯一二ノ大家ニ二三年ゴロツイテ居テ、直チニ判檢事ニナルト云フコトニナルデアリマスガ、ソレ等ノ人ハ民間ノ事件ヲ澤山扱テ民間ノ事情ニ通シテ居ルト云フコトハ出來ナイ、少クトモ是ハ七年以上ト云フ風ニシナケレバナラヌト思フデアリマスガ、其邊ノ御考ハドウデアリマスカ、此二點ヲ伺ヒタイ

○議長(長谷場純孝君) 提出者カラ御答デアリマスカ
○武田貞之助君 私ハ此案ト云フモノハ此案通り通過サレマシテモ相當希望者ヲ吸收サレト云フ見込デアリマス、次ニ二年間ハ短キニ失シハヌカト云フ御尋デアリマスガ、現ニ司法官ノ見習ト云フコトコロノ程度カラ見マシテモ敢テ差支ナイモノト信ズルデアリマス、尤モ此辯護士事務ヲ實習致シテ居ルト云フモノハ甚ダ無責任、甚ダ粗末デアルト云フコトヲ前提シテ御考デアラウト信ジマスガ、是ニハ辯護士法ナリ、辯護士會

規則ヲ改正シテ相當ノ方法ヲ取リタイト思ヒマスカラ、決シテ御質問ノ如キ御心配ハナイト信ジテ居リマス、其他ハ一個ノ御議論ニナリマス答辯ハ致シマセヌ
○塚田啓太郎君 提出者三質問ヲ致スデアリマス、此「第六十五條三年以上帝國大學法科教授若ハ辯護士タル者ニ限り判事又ハ檢事ニ任セラル、コトヲ得」ト斯ウ云フ文句デ、是ニ依テ見ルト博士ノ稱號ヲ得テ居テ立派ナ法律家デモ、亦大學ヲ卒業シタトコロノ立派ナ學士デモ一度大學教授ニナツテカラアルカ、然モナケレバ辯護士ニナツテ、而シテ後デナケレバ判檢事ニ成レナイト見テ宜シウゴザイマスカ
○武田貞之助君 御尋ノ通りデアリマス
○塚田啓太郎君 是ハ何故ニサウ云フ立派ナ學士、博士ヲ排斥シテ唯單ニ三年以上辯護士ヲヤツタモノヲ判檢事ニスルト云フ所ノ理由如何(笑聲起ル)
○武田貞之助君 結局本案ハ諸君モ御承知ノ通り、學校ヲ出テ官吏バカリヤテ居ラハ民間ノ事情ガ分ラヌ、商習慣ナドヲ知ラヌ、民情ニ通ゼズ、爲ニ沒常識ノ判決ガ澤山出テ來ル、是ニ反シテ我田引水デハアリマセヌガ、辯護士カラ出テ判事檢事ハ沒常識ノコトガ比較ノ少ナイデアリマス、ソレデ此案ヲ擲出シタノデアリマス、其他唯今御質問ノ點ニ於テ幾分カ議論ノ點ガアリマシタガ、ソレハドウゾ委員會ニ御譲リヲ願ヒマス
(政府委員齋藤十一郎君登壇)
○政府委員(齋藤十一郎君) 私カラ政府ノ意見ヲ一言申上ゲテ置キマス、政府ハ此案ニハ誠ニ遺憾ナカラ反對ヲ致スデアリマス、唯今提出者ノ御言葉中ニ沒常識ト云フ言葉ガアリマシタガ、思フニ現在ノ判事檢事ハ比較的ニ沒常識デアルト、斯ウ云フコトヲ御述ベニナツタヤウデアリマスカラ、斯様ナコトハ政府ニ於テハ認メテ居ラヌト云フコトヲ一言御答シテ置キマス
○恒松隆慶君 本案ハ大分異論ガアルヤウデゴザイマスガ、免二角之ヲ委員ニ付託シテ(即チ前ノ委員ニ付託サレンコトヲ望ミマス)
○議長(長谷場純孝君) 恒松君ノ動議ノ如ク、免二角(笑聲起ル)前日程ノ同一委員ニ付託スルトニ御異議アリマセヌカ
(「異議ナシ」ト呼ブ者アリ)
○議長(長谷場純孝君) 御異議ガナイト認メマスカラ其通り決シマス——日程第九、關稅定率法輸入稅表中改正法律案ノ第一讀會、議案ノ朗讀ハ省略致シマス、提出者千田軍之助君

規則ヲ改正シテ相當ノ方法ヲ取リタイト思ヒマスカラ、決シテ御質問ノ如キ御心配ハナイト信ジテ居リマス、其他ハ一個ノ御議論ニナリマス答辯ハ致シマセヌ
○塚田啓太郎君 提出者三質問ヲ致スデアリマス、此「第六十五條三年以上帝國大學法科教授若ハ辯護士タル者ニ限り判事又ハ檢事ニ任セラル、コトヲ得」ト斯ウ云フ文句デ、是ニ依テ見ルト博士ノ稱號ヲ得テ居テ立派ナ法律家デモ、亦大學ヲ卒業シタトコロノ立派ナ學士デモ一度大學教授ニナツテカラアルカ、然モナケレバ辯護士ニナツテ、而シテ後デナケレバ判檢事ニ成レナイト見テ宜シウゴザイマスカ
○武田貞之助君 御尋ノ通りデアリマス
○塚田啓太郎君 是ハ何故ニサウ云フ立派ナ學士、博士ヲ排斥シテ唯單ニ三年以上辯護士ヲヤツタモノヲ判檢事ニスルト云フ所ノ理由如何(笑聲起ル)
○武田貞之助君 結局本案ハ諸君モ御承知ノ通り、學校ヲ出テ官吏バカリヤテ居ラハ民間ノ事情ガ分ラヌ、商習慣ナドヲ知ラヌ、民情ニ通ゼズ、爲ニ沒常識ノ判決ガ澤山出テ來ル、是ニ反シテ我田引水デハアリマセヌガ、辯護士カラ出テ判事檢事ハ沒常識ノコトガ比較ノ少ナイデアリマス、ソレデ此案ヲ擲出シタノデアリマス、其他唯今御質問ノ點ニ於テ幾分カ議論ノ點ガアリマシタガ、ソレハドウゾ委員會ニ御譲リヲ願ヒマス
(政府委員齋藤十一郎君登壇)
○政府委員(齋藤十一郎君) 私カラ政府ノ意見ヲ一言申上ゲテ置キマス、政府ハ此案ニハ誠ニ遺憾ナカラ反對ヲ致スデアリマス、唯今提出者ノ御言葉中ニ沒常識ト云フ言葉ガアリマシタガ、思フニ現在ノ判事檢事ハ比較的ニ沒常識デアルト、斯ウ云フコトヲ御述ベニナツタヤウデアリマスカラ、斯様ナコトハ政府ニ於テハ認メテ居ラヌト云フコトヲ一言御答シテ置キマス
○恒松隆慶君 本案ハ大分異論ガアルヤウデゴザイマスガ、免二角之ヲ委員ニ付託シテ(即チ前ノ委員ニ付託サレンコトヲ望ミマス)
○議長(長谷場純孝君) 恒松君ノ動議ノ如ク、免二角(笑聲起ル)前日程ノ同一委員ニ付託スルトニ御異議アリマセヌカ
(「異議ナシ」ト呼ブ者アリ)
○議長(長谷場純孝君) 御異議ガナイト認メマスカラ其通り決シマス——日程第九、關稅定率法輸入稅表中改正法律案ノ第一讀會、議案ノ朗讀ハ省略致シマス、提出者千田軍之助君

第九 關稅定率法輸入稅表中改正法律案(千田軍之助君外六名提出) 第一讀會

關稅定率法輸入稅表中改正法律案
關稅定率法輸入稅表中左ノ通改正ス

一〇 米及粉	每百斤	一、三〇
一一 大麥	同	一、〇〇
一二 小麥	同	一、〇七
一三 穀粉及澱粉類	同	一、〇七
一四 小麥粉	每百斤	二、八五
一五 オートミール	同	四、四二
一六 コーンミール	同	三、八七
一七 タピオカ及マニオカ	同	一、八〇
一八 其ノ他	從價	三割

附則

本法ハ明治四十二年十月一日ヨリ之ヲ施行ス

(千田軍之助君登壇)

○千田軍之助君 諸君、私ハ關稅定率法輸入稅表中改正法律案ヲ提出致シタ一人デゴザイマスカラ、聊提出ノ理由ヲ述ベヤウト存ジマス、即チ現行ノ輸入稅表中ノ米穀ノ稅金ハ每百斤ニ付六十四錢デアリマス、之ヲ私ハ一圓三十錢ニ改メタイト云フ考デアリマス、而シテ大麥ハ百斤ニ付四十五錢タルノヲ、之ヲ一圓ニ致シタイ考デアリマス、小麥ノ方ハ五十七錢タルノヲ、之ヲ一圓七錢ニ致シタイ考デアリマス、サウシテ小麥粉ノ一圓四十五錢タルノヲ、一圓八十五錢ト、斯ノ如ク改正ヲ致シタイ考デアリマス、諸君、農家ノ有様ヲ觀察致シマスニ今日ヨリ十數年前、農家ノ肥料ト云フモノハ大抵十貫ニ付二圓乃至二圓五十錢デアリマス、即チ千觔ノ如キ其通リデアリマス、然ルニ今日ハドレ丈ノ價有テ居ルカト云フト、四圓乃至五圓デゴザイマス、即チ倍以上ノ價ニナツテ居リマス、而シテ農家ノ勞銀ハ今日ヨリ十數年前ハドレ位デアッタカト云フト、一日二十錢位デアリマス、然ルニ今日ハ五十錢乃至六十錢殆ド三倍以上ニ上ツテ居リマス、斯ノ如ク肥料ハ十數年前ニ較ベマスレバ一倍以上ニ増加シテ居ルノデアアル、而シテ勞銀ハ一倍乃至三倍ニ増加シテ居ル、然ルニ農家ノ收穫タル米ノ價ハ十數年前ハ幾干デアッタカト考ヘテ見マスルト十二圓デアッタ、而シテ今日ハドレウカト云フトヤハリ十二圓デアアル、今申ス通り肥料勞銀ハ二倍乃至三倍ニ上ツテ居ルノデアリマス、然ルニ農家ノ收益トナルベキ所ノ米ノ價ハ十數年前モ十二圓、而シテ今日モ十二圓デアリマス、少シモ米價ハ上ツテ居ラスノデアリマス、又農家ノ負擔即チ地租其他ノ負擔ハ如何ニナツテ居ルカト云フト、地租ハ御承知ノ通り今日ヨリ十數年前ニ於テハ地價百分ノ二デアッタヤツガ、今日デハ百分ノ五即チ十二割以上ノ増加デアリマス、而シテ府縣稅、市町村稅、區費ハドウ云フコトニナツテ居ルカト云フト、是亦十數年前ニ比ベテ見ルト確ニ十割以上ノ増加デアリマス、斯ノ如ク負擔ノ上ニ於キマシテ十數年前ニ比較シテ調査スルト、即チ地租三割、府縣稅以下ノ公課ニ於テハ十割以上ノ増加デアリマス、即チ先キニ申シタル通り肥料ト言ヒ、勞銀ト言ヒ、何レモ二倍乃至三倍ニ増加シテ居ル、又負擔ノ上ニ於テモ今申ス通り十二割乃至十割ト云フヤウニ之ヲ合セルト云フト二十割ノ増加デアアル、斯ノ如クナツテ居ルニ拘ハラズ、米ガ十數年前モ今日モ依然タル有様デアアルデアリマス、之ハ大ニ日本ノ經濟界全體ノ大ニ決シテ農家ノ大ニ害ナケレバナラヌ問題ト考ヘマス、今日我國ノ直接國稅ノ上カラ云ウテモ、間接國稅ノ上カラ云ウテモ、大體此負擔ト云フモノハ農民ガ負擔シテ居ルノデアアル、其農民ガ彼ノ一方ニ於テ肥料ナリ勞銀ナリ非常ニ騰貴シテ、其他ノ物價モ騰貴シテ居ルニモ拘ハラズ、單リ此收益トナルベキ米價ガ依然トシテ上ラナイト云フトハ、大ニ考慮ヲ費サナケレバナラヌ點ト考ヘル、私ノ見ル所ハ維新以來今日マデ御考ヲ持テシマスニ、全ク是ハ印度方面、印度ガ非常ニ米ガ澤山出來ル、而シテ印度ノ生活ト云フモノガ極メテ低イノデアアル、其生活ノ低イ印度ニ於テ澤山米ガ出來ルカラ日本デ米ガ三百万石ヤ四百万石足ラヌトコロガ、何時デモ印度カラシノ入デ來ル、殊ニ近年ハ交通ガ便利ニナツタカラ運入シテ來ルニ頗ル便利デアアルノミナラズ、近頃朝鮮、朝鮮ノ米ガ輸入シテ來ル、即チ印度ナリ朝鮮ナリノ米ノタメニ日本ノ米ト云フモノガ何年經テモ價ガ上ラナイノデアアル、其一方ニ於テ今申ス通り肥料ナリ勞銀ナリ其他ノ物價ハシノ上ツテ居ル、所デ今日ノ農家ノ負擔ハドウナツテ居ルカト云フトコトヲ考ヘルト云フト、全ク米ヲ十二圓ト致セバ即チ千圓

ノ收益ガアルナラバ、地價ノ極メテ輕イ方面ニ於テモ千圓ノ中四百圓バカリハ地租、府縣稅、市町村稅、區費ニ取ラレテ居ルノデアアル、少シ地價ノ高イ處ハ四百五十圓乃至五百圓、最も高イ處ハ六百圓バカリ取ラレテ居ル、即チ收益ノ半バ以上ト云フモノガ地租以下ノ公課ニ取ラレテ居ルノデアアル、今日我國ノ國民中斯ノ如キ苛稅重歛ヲ負擔シテ居ルトコロノモノハ農民ヲ指イテナイノデアリマス、ソコデ之ヲシテ相當ノ收益アラシメナイト云フトハ、單リ農家ノ發達ヲ害スルノミナラズ、國家經濟ノ全體ヲ害スルノデアリマス、ソレデ此日本ノ米ナリ其他麥等ノモノニ相當ノ價ヲ保タシメルト云フトハ、關稅政策ノ其宜シキヲ得ルヨリ外ニ法ハナイノデアアル、是レ此法案ヲ提出シタ所以デアリマス、而シテ之ハ決シテ今日デヤナイ、是ヨリズツ十數年前カラ此政策ヲ執ツタナラバ、ドシノ日本ノ農產物が發達ヲ致シテ、米ナドハ決シテ輸入ヲ仰ゴトハ要ラナイト云フトニナルノデアアル、全ク此政策ヲ執ルノガ遲レテ居ルノデアアル、所デ今日歐米列國ガ自國ニ出來ル農產物ニ付テ如何ナル政策ヲ執ツテ居ルカ如何ナル保護政策ヲ執ツテ居ルカト云フトコトヲ調査シテ見ルト、歐米各國ハ商工業ヲ盛シメルト云ウテ居ルケレドモ、ナカク農業ノ發達ト云フトニハ至大ナル力ヲ朝野共用井テ居ルノデアリマス、即チ其一例ヲ舉ゲテ申シマスレバ、即チ此日本ニ當ルモノハ歐米デハ麥ト小麥デアリマス、即チ此麥ニ付テハ北米合衆國ニ於テハ每百斤ニ付テ一圓六十錢掛ケテ居ルノデアアル、獨逸ハドレダケ、獨逸ハ二圓一錢掛ケテ居ルノデアアル、佛蘭西ハドレダケデアアルカト云フト七十錢掛ケテ居ルノデアアル、伊太利ハ九十三錢掛ケテ居ルノデアアル、奧地利ハ九十八錢掛ケテ居ル、而シテ小麥ニ付テハドレダケ掛ケテ居ルカト云ウテ見ルト、北米合衆國ハ百斤ニ付テ一圓十一錢掛ケテ居ル、獨逸ハ二圓十五錢掛ケテ居ルノデアアル、佛蘭西ハ小麥ニ付テ一圓六十三錢掛ケテ居ル、伊太利ハ一圓七十四錢掛ケテ居ル、奧地利ハ一圓八十三錢掛ケテ居ル、又米ニ付テハドレダケ掛ケテ居ルカト云フト、米ニ付キマシテ北米合衆國ハ百斤即チ凡ソ日本ノ一俵ニ付テ五圓三十二錢掛ケテ居ル、玄米ニ對シテハ三圓三十二錢掛ケテ居ルノデアアル、獨逸ハ米ニ付テハ一圓七十二錢掛ケテ居ル、ソレカラ玄米ニ付テハ一圓十五錢掛ケテ居ルノデアアル、佛蘭西ハ白米ニ付テ一斤ニ付テ一圓八十六錢掛ケテ居ル、ソレカラ當リ前ノ米ニ付テハ一圓三十九錢掛ケテ居ル、伊太利ハ白米ニ付テ一圓七十四錢、又上白米ニ付テハ二圓五十五錢掛ケテ居ル、玄米ニ付テハ一圓十六錢掛ケテ居ル、ケレドモ先ヅ米ニ對照スルヨリ外ニ我國ノ米ニ對照スルノハ歐米ノ食料品ハ麥、小麥デアアルカラシテ、之ニ對照シテ見ルガ宜イノデアアル、即チ獨逸ノ如キモ麥ニ付テハ五圓以上ノ關稅ヲ掛ケテ居ルノデアリマス、小麥ニ付テハ更ニソレ以上ノ稅ヲ掛ケテ居ル、然レドモ獨逸ノ製造工業ノ發達ニハ少シモ妨ゲナイノデアアル、動モスルト農家ノ保護政策ヲ執ルト云フガ世間ニハ斯ウ云ウテ代議士ガ反對シテ居ルノガアル、然ルニ農家ノ保護ト云フケレドモ其大地主、地主ヲ保護スルモノデアアル、サウ云フ說ヲ吐ク、其大地主、地主ハドウ云フ意味デアアルカト云フトコトヲ聞イテ見マスルト、亞米利加人ナリ又歐羅巴人ノ書イタ經濟書ニアル大地主、地主ヲ云ウテ居ルノデアアル、然ルニ我國ニハ私ガ全國遍ク調査シテ見マシテモ決シテ歐米人ガ書イタ經濟書ニアルヤウナ大地主、地主ト云フモノハ更ニナイ、僅ニ地主ト云ヒ得ル者ハ三人シカナ、日本ノ農業界ニ於テ即チソレハ越後ノ市島ト、出羽ノ本間、伊勢ノ諸戸清六、此三人シカナ、而シテ之トモ決シテ歐米ノ大地主ニ對比シ得ベキモノデナイ、僅ニ地價五十萬ノ内位ノモノ、ソレヨリ以下ノ者ハドウ云フ有様デ居ルカト云フト、地價一萬圓ヲ持ツ者ハドレダケノ收益ガアルカト云フトコトヲ諸君調査シテ御覽ナサイ、僅ニ之ヲ以テ少ナイヤツガ千二百圓、多イヤツガ千五百圓位シカナ、

即チ之ヲ役人ニ醫ヘテ申シタナラハ高等官ノ五等カ六等ノ收入ダケシカナイノデアル、ソレガ即チ三千五百人シカナイノデアル、ソレヨリ以下ニ至テハドウカト云フテ見ルト、地所三町以上所有シテ居ル者ハ幾萬人アルカト云フ、是亦五萬人シカナイノデアル、而シテ三町以上デドレダケノ收益ガアルカト調査シテ見ルト、三町一箇年二三萬圓ノ利益ガナイ、即チ三百圓ノ所得稅ヲ納メルコトガ出來ナイト云フ有様デアルノデアル、即チ農家ノ戸數ハ幾許アルカト云フコトヲ調査スルト七百四十萬戸アルノデアル、諸君、七百四十萬戸ノ中大地主ト云ヒ得ル者ハ僅ニ二人、而シテ地價一萬以上持ッテ居ルモノハ僅ニ三千五百人シカナイノデアル、而シテ地所三町以上所有シテ居ルモノハ五萬人シカナイノデアル、地所三町以上持ッテ居ル者ハドレダケノ收益ガアルカト云フ、一箇年二百五十萬圓シカナイノデアル、殘餘ノ七百四十萬戸ノ農家ハ地所一町以下ノ百姓デアル、七百四十萬戸ノ百姓ノ中七百四十萬戸マデハ地所一町以下ノ者デアル、而シテ一町以下ノモノガドレダケノ收益ガアルカト云フコトヲ諸君調査シテ見給ヘ、一町デ先ア上等田デアッテ日本全國平均スルト二十四石取ッテ宜イ、其二十四石ト云フモノヲ十二圓ノ代價ニ換算スルト云フ、二百八十萬圓シカナイノデアル、其中今日地租、府縣稅、市町村稅、區費ト云フモノヲ引去ルト云フ、僅ニ八十二萬圓カ二百十圓シカナイ、所デ此中肥料ト云フモノヲ又五十萬圓乃至六十萬圓引クト差引五百十圓シカ利益ガナクナル、而シテ其一町ノ地所ヲ耕作致シマスノ幾人掛ルカト云フ、即チ三人掛ッテ、二人ガ年中營々トシテ百五十圓ノ利益シカナイノデアル、諸君今日デハ都會ノ車夫、都會ノ車夫ト雖モ一箇月ニチヨット三十圓乃至三十五圓ノ收益ガアル、確ニ一箇年ニシテ四百圓ノ收益ハ車夫ト雖モアルノデアル、其他大工ト雖モ、車夫ト雖モ、左官ト雖モ、大抵三百圓カラ四百圓ノ收入アルノデアル、而シテ農家ノ有様ヲ見レバ今今日地租初メ總テ公課ト云フモノハマルデナイトスル、無稅ニシテヤッテモ諸君、二百七十何圓ホカナイノデアル、其中五十圓引ハアトハ二百十圓バカリホカナイノデアル、無稅ニシテヤッテモ二百十圓ホカニ三人掛ッテ一箇年ニ得ル處ハナイ、然ルニ之ニ先ニ申シタル如ク、莫大ナル地租以下ノ公課ヲ課シテ居ルノデ、決シテ農業保護政策ハ大地主ノタメヲ計ルモノデアル、或ハ又地主ノタメヲ計ルモノデアルト云フコトハ全ク歐米ノ經濟上ノ學說ニ醉ウタ連中ノ議論デアッテ、日本ノ實際ヲ知ラナイモノデアル、私ハ斯ウ考ヘル斯ノ如キ問題ハ決シテ大地主、地主ヲ肥ヤス問題デハナクシテ、日本ノ農業ノ勞働者ノ勞銀ヲ高メル問題デアルト考ヘル、即チ事實其通りデアル即チ大ナル——大多數ヲ占メル農業ノ勞働者ノ、先刻カラ述べタヤウナ重キ負擔ヲ負ハセテ、加之一方外國即チ朝鮮ナリ印度カラシテ極メテ廉イ米ガ年々這入ッテ來ルニモ拘ハラス、之ニ對シテ相當ノ保護政策ヲ執ラナイト云フコトハ、全ク今日マデノ政府——議會ハ此農民ト云フモノヲ眼中ニ置クコトガ十分ナラナイノ致ス處デアルト考ヘルノデアル(拍手スル者アリ)動モスレバ餘リ惡口ハ言ハヌ方ガ宜イデラウ、全クソコデ僕ハモウ少シ言ヒタイコトガアルノデアリマスガ、餘リ惡口ハ言ハヌ(委員會デヤリ給ヘト呼フ者アリ)是ハ歐米列國ガ先キニ述べタル通り、モウ相當ニ此自國デ出來ル農產物ニ對シテ保護ヲ掛ケテ居ルノデアル、現ニ獨逸ノ如キ御覽ナサシ、一石ニ付テ五圓以上掛ケテ居ル、小麥ニ對シテハ五圓五十錢掛ケテ居ルノデアル、ソレデ又モウ一ツ御話スル、米ガ高ケレバ農家以外ノ勞働者ガ困ル、商工業者ガ困ルト云フコトガ世間ニ從來反對ガアル、是モ空論デアル、現ニ見給ヘ、明治初年以來今日マデノ米價ノ事實沿革ヲ調査シテ見給ヘ、米ガ相當ノ價格ヲ保ッテ居ルトキニハ農家ノ經濟ガ宜イミナラズ、農家以外ノ勞働者モ頗ル元氣デア

ル、商工業者モ盛ンデアル、之ニ反シテ米價ノ低落シタトキニハ農家ハ申スマデモナク農家以外ノ勞働者ガ餓死シテ居ル、商工業モ萎靡シテ居ル、即チ明治九年ノ如キハ米ガ四圓内外デアル、其時ハ農家ノ困弊ハ申スマデモナク農家以外ノ勞働者ハ餓死シタノデアル、商工業ハ萎靡シタノデアル、明治十一年、十二年ニハ米ガ段々八圓カラ十圓ニ騰ッタ、其時ハ農家モ活氣ガアリ、農家以外ノ勞働者モ活氣ガアリ、商工業モ稍々頭ヲ上ゲテ來タ、所ガ十四、十五、十六年アタリハ不換紙幣ヲ減殺シタトキノ松方大藏大臣ガ急激ニ不換紙幣ヲ減殺シタメニ物價ガ低落シテ、十四年カラ下リカケテ、十四カラ十五、十六、十七、十八、十九、二十、二十一年マデ米價ガ下ッテ、即チ四圓内外マデ下ッタ、當時ノ日本ノ經濟界ノ有様ハドウデアッタカ、農家ガ困弊スルノミナラズ、農家以外ノ勞働者ガ米ノ高價廉イデハナイ、仕事ガナクテ餓死シタノデアル、現ニ明治十六年ノ如キハ小生ノ縣下ノ如キ戸數ノ五十戸アル處ハ五十人位餓死シタノ瀕シテ餓死途ニ滿テリト云フノハ此當時ノ狀況デアルカト考ヘタ、所ガ明治二十三年、四年、五年、六年トナッテ來テ、段々米價八圓、十圓ト上ッテ來テ、日本ノ經濟界ガ良クナッテ遂ニ日清戰爭ガ出來タノデアリマス、若シ明治二十年前後ノ有様デアッタナラバ、如何ニ陸海軍ガ整ウテ居ッテモ、決シテ日清戰爭ハ出來テ居マセヌコト何故ナラト云フニ、諸君千人住マバ共スギト云フコトガアル、人間ガ千人住シテ居レバ相互ニ複雜ノ關係ニ依ッテ生活ガ出來ルト云フノデアル、所ガ日本國五千萬ノ共スギデヤッテ居ルノデ、其中農民ト云フモノハ三千五百萬圓——近クアル、而シテ其ハ何レモ大地主、地主ト云フヤウナモノデハナイ、農業ノ勞働者デアル、日本國民ノ勞働者ノ中大多數ヲ占メル勞働者ノ階級デアル、此階級ノ先刻カラ申スヤウナ收益ノ少ナイヤウナ者ニ對シテ非常ナ稅ヲ負ヘテ居ル、加之外ノ朝鮮、印度ノ方面カラ非常ナル競爭ガアルニモ拘ハラズ、之ニ對シテ何等ノ意ヲ用非ナイト云フコトハ、甚ダ今日マデノ私ハ其實ハ意リヒキデ上ゲタイノデアル、ケレドモ諸君ノ中ニハ先ツ此位ニシテ置ク方ガ宜イト云フカラ私ハ遠慮シテ居ル、私ハ獨逸ガ麥ニ課シテ居ル位ハ差支ハナイ、即チ百斤ニ付テ二圓位掛ケテ宜イト云フコトヲ確信シテ疑ハナイト云フノデアルガ、同志諸君ノ中ニハサウ一時ニヤラナイガ、宜カラウ、私ハ之ハ實際ノ上カラ考ヘ、又歐米列國ノ執ッテ居ル政策ニ照シテ少シモ疑ハナイノデアル、是ハ斷々平トシテ斷行シナクチャナラナイト考ヘル、ソコデ決シテ之ハ地主デヤノ大地主ヲ保護スルト云フデハナイ、國民ノ大多數ヲ占メル農業ノ勞働者ニ稍々利益ノアルヤウニスルト云フ政策ナノデアリマス、然ルニサウ致セバ決シテ農家ノミデハナイ、農家以外ノ勞働者モ商工業者モ利益ガアルノデアアル、現ニ諸君見給ヘ、日露戰爭ノアトデ一昨年ノ冬カラ昨年ニ掛ケテ東京ニ來ルト云フ、今ニモ日本ノ經濟界ガ火ガ消エサウナヤウナ狀態デアッタケレドモ、私が日本全國ノ經濟界ヲ觀察スル處ニ依ルト、全ク一昨年カラ昨年ニカケテノ不景氣ト云フモノハ大體各府縣ノ都市——東京始メ各都市ノ不景氣デアッテ、田舎ノ郡部ニハ更ニ不景氣ノ事實ハナカッタノデアアル、更ニ一昨年カラ昨年ニカケテノ不景氣ト云フモノハ言葉ヲ換ヘテ云ヒマスレバ、公債株券ノ所有者及其波動ヲ受ケル部分ノ不景氣デアッテ、田舎ニハ更ニ不景氣ノ事實ハナカッタノデアアル、其不景氣ノ事實ガナイト云フノハドウ云フモノカト云フ、米ガ十五圓日露戰爭ノ當時十五圓乃至十六圓ノ價格ヲ有ッタカラデアアル、然ルニ昨年ノ秋爾來今年ニカケテハ、モウ田舎ガ非常ニ不景氣ノ兆候ヲ呈シテ來タ、此儘デ一二年往ッタナラバ今度ハ本當ノ日本經濟界ノ大不景氣ヲ醸スト思フ、現ニ諸君ソナラ非常ニ今日ノ經濟界ハ憂フベキモノデアルト云ヘバ憂フベキデハナイ、一體戰爭ノアトデ經濟社會全體ヲ攪亂シ

(10)

數ノ小作人及多數ノ自作農夫ト云フモノハ唯働イタキリテ自分ノ家ノ漸ク食位ノ米シ
カナイノアリマス。總テ日常一般ニ使フモノ物品ト云フモノ高イ、生産品モ高
クナレバ、總テ有ラユル農家ノ需要品ガ高クナルノデアルカラ、其結果ハ米ガ高クナラ
ズ收入スル方ガ何等影響ナクシテ、唯日夕百般ノ農民ノ消費スルモノモ高クナル
ノデアルカラ、收入ガ從來ト一モ變ラズ、依然トシテ唯支出ノミガ殖エルト云フ結果ハ呈ス
ルノハ當然ノコトデアル(拍手起ル)然ラバ諸君、此案ハ農民ヲ保護セントシテ其結果ハ
ドウデアルカト言ヘバ、獨リ少數ノ實ニ飽食暖衣逸居シテ居ルコロノ少數ノ地主ヲ保
護シ、粒々辛苦一年三百六十五日晨星ヲ朝イテ出デ、夕ニ月ヲ踏シテ歸ルコト云フ
此多數ノ小作人及自作人ニ對シテハ非常ノ打撃、非常ノ苦痛ヲ與ヘルト云フコトハ明
カナコトデアルヲ私ハ信スルノデアル(拍手起ル)而シテ其結果ハ、私が申シマシタ如
ク工事ニ向テ非常ナル打撃ヲ與ヘル、而シテ其結果ハドウナルカ、一度目ヲ注イテ外
國貿易ノ狀態ヲ見マシタラバドウ云フ結果ハ呈スルデアラウカ、此結果ハ内地ニ於ケ
ル一般ノ物價ガ騰貴シテ製造工業ニ向テ非常ナル打撃ヲ與ヘル、斯ウ云フ結果ハドウ
デアルカ、外國ニ對スルモノノ輸出ハ次第ニ減シテ來ル、而シテ是ト反對ニ外國カラ
日本ニ輸入スルモノガ次第ニ増加シテ來ル、即チ此案ノ結果ハ輸出ヲ阻礙シテ輸入
ヲ獎勵スルコト云フ結果ハ呈スルコトハ誠ニ分明ノコトデアル(拍手起ル)荷モ經濟
史ノ一經濟史ノ一頁ヲ讀ンテ居ル人ハ殆ド私ガ此壇ニ立テ一言ヲ費サナクテモ分ル
是ハ問題デアル、即チ物價騰貴ノ結果ハ外國貿易上ニ於テ輸入ヲ獎勵シテ輸出ヲ阻
礙スルコト云フコトガ明白ノ問題デアル(アツコツチダ)呼フ者アリ)即チ此案ハ確ニ其結
果ヲ呈スルノデアル、サナキダニ諸君、昨年ノ外國貿易ノ狀態ハドウデアルカ、輸入ハ輸出
ニ超過スルコトハ五六千圓ト私ハ確ニ記憶シテ居リマス、而シテ其外ニ諸君彼ノ戰等
時代ニ募ツタコロノ外債ノ利子ハ年々歳々我帝國ハ外國ニ向テ六七千圓ノ利子
ダケモ仕拂ハナケレバナラヌト云フ今日ノ有様デアル(ウシナコトハ分ツテ居ル)呼フ者
アリ)輸出貿易ノ不平均ノ結果トシテ五六千圓ノ金ヲ外國ニ仕拂フ義務ガ一方
ニアリ、而シテ一方ニハ此公債ノ利子ダケテスラ年々六七千圓、是ヲ併セテ、見マスレ
バ一億二三千萬圓ト云フモノガ、免ニ角海外ニ正貨ヲ以テ仕拂ハナケレバナラヌト云フヤ
ウナ今日目下ノ狀態デアルノデアル、然ルニ尙此勢ヲ助長シテ輸出ノ不平均ヲ、ヨリ盛
ニナラシメント云フコトデゴザリマシタラバ、或ハ此案通過ノ曉ニハ外國貿易ノ不平均ハ七
千萬圓、八千萬圓、九千萬圓、一億萬圓ト云フコトニナツテ一方ノ公債ノ利子ノ仕拂
ト合スレバ殆ド二億二近イ正貨ガ海外ニ流失スルコト云フ結果ハ呈シハセヌカト云フコトヲ
私ハ切ニ憂フルノデアル(モウ宜カラウ)呼フ者アリ)今ヤ朝野ノ政治家重ナル實業家、
經濟家等ノ者ガ非常ニ苦心シテ居ル問題ハ何デアルカ、即チ前ニ私が述べマシタ如ク
外國貿易上ノ昨年及近年ニ於ケルコトノ輸出入ノ不平均、及外國ニ仕拂フベキコ
トノ此公債ノ利子、免ニ角一億萬圓餘ノ金ヲ海外ニ仕拂フノ如何ニシテ仕拂フカ、
日本銀行ノ正貨準備即チ日本銀行ノ兌換ノ基礎ヲ鞏固安泰ニ致シテ、サウシテ年々此
一億萬圓内外ノ海外ニ對シテ債務ヲ決済スルコトハ如何ニシテ宜イカト云フコ
トガ、今日朝野ヲ問ハズ總テ重ナル人ノ常ニ研究ニ怠ラザルコトノ重大ナル問題デアリ
マス、諸君斯ノ如キ此一億萬圓内外ノモノデサヘモ如何ニシテ決済スルカ、日本ノ經濟上
及財政上ニ打撃ヲ與ヘズシテ旨ク此對外債務ヲ決済スルコトハ、實ニ重ナル政治
家、實業家ガ非常ニ今日頭ヲ苦シメテ居ル問題デアル、然ルニ此案ハ前ニ申シマシタ如
ク此問題ニ對シテ國家ノ財政經濟ヲ根本ノニ破壞セントスルガ如キ此案デアリマスルカ
ラ(ノウ)「ヒヤ」(私ハドウシテモ此案ニ賛成スルコトガ出來ナイノデアル、諸君

警ヘテ申シマスルナラバ朝野ノ政治家ガ斯クマデ苦心シテ居ル問題ニ對シテ千田君其
他ノ御方ガ之ヲ御提出ニナツタノハ、私ハ失禮ノ言葉デアルカモ知リマセヌガ、是ハ所謂
親ノ心子知ラズトモ申シマセウカ(ノウ)「ツレカラ最後ニ一言致シマス、先日豫算
案ガ本議ニ上ツタ時分ニ、吾々同志ノ者ヨリ致シマシテ陸軍省ノ糧秣費ノ中デ本年度
ノ米價ガ十七圓四十錢ト見積ツテアツタヤウニ記憶シテ居リマス、此十七圓四十錢ト云
フ米價ハ大變又高過ギル、少クモ昨年ノ十六圓五十錢マデ切下ケテ此糧秣費ノ修正
案ヲ吾々同志ノ者ヨリ提出致シタノデアル、即チ十七圓四十錢ノ米價ハ高イカラ十六
圓五十錢ノ豫算ニ組メト云フ修正案ヲ吾々同志ヨリ提出致シタノデアル(現今ハ高イ
デヤナイカ)「呼フ者アリ)其時分ニ諸君ハドウデゴザイマセウ、唯今此案ヲ此壇ニ立
テ御提出ニナツタ御方ハ、政府ノ米價十七圓四十錢ハ相當デアルト云ウテ協賛ヲ與
ヘラレタ人デアリマス、今日ノ米價十七圓四十錢ハ相當デアルト云ウテ協賛ヲ與
スル案ヲ提出スルノ必要ガアリマセウカ、私ハ本年ノ米價ガ十七圓四十錢ハ相當デア
ル又是ガ當リ前デアルト言ハレタ人ハ本案ノ如キモノヲ提出スルノ資格モ權能モナイ人デ
アルト云フコトヲ明言致シマス、斯ル意見デゴザイマスカラシテ、ドウカ本案ハ委員附託ヲ要
セズ、即決否決アラシコトヲ希望致シマス

○議長(長谷場純孝君) 早川龍介君

○早川龍介君 無論大勢ハ決シテ居リマスケレドモ、餘リ愚論デアリマスカラ一言反

駁ヲ試ミマス、唯今西村君ノ御話デハ日本ノ多數ノ地主ガ僅ニ喜ブダケダト云フコトデ
アル、是ハ全ク外國カラテ來タ人デナケレバサウ云フコトハ言ハヌ、又一面ニ於テ之ヲ申
シマスレバ若シ舊ノ如ク穀物デ年貢ヲ上納スルコト云フコトデアリマシタラバ、ツレハ又別
問題デアリマスルガ、今日ハ即チ金銀ニ換算ヲ致シテ納メナケレバナラヌデアリマスル
カラ、日本多數ノ農業一步ノ地所ヲ持ツモノデモ、必ズ石代ニ關係ヲ有ツノデアル、何
處マデモ是ハ千田君ノ案ハ無論極ク十分ナル慎重ナル調査ヲシナケレバナラヌモノダト思
フ、唯茲ニ農民ノタメニ私ハ一言シテ置カシナラヌコトガアル、三稅々々ト云ウテ非常ニヤ
カマシイ問題デアリマスルケレドモ、農民ノ此特別ノ稅ヲ増シテ來マシタ總額ト云フモノハ
實ニ大變ナモノデアアル、是ハ能ク皆サシ御承知ニナツテ居ルデアラウト思ヒマス、五千二
五萬ホドノ金ガ増シテ居ル、故ニドウ致シマシテモ此惡稅々々ト唱ヘラレマスケレドモ、物
ヲ取ラレルノニ喜ンデ善稅トシテ出スモノハ殆ドナイモノデアリマス、何レモ取ラレルモノハ
惡稅ニ相違ナイノデアリマスケレドモ、國民全體ニ對シテ或者ニ厚ク、或者ニ薄クト云フ
コトハ甚ダ不都合ノコト、思ヒマス、又一面ニハ亞米利加ノ諸リ保護稅ト云フモノハ國
民ノ農業ヲ繁盛ニスルタメニ保護稅ヲ實際ニ行ツテ國民ノ收利ヲ殖ヤシテ國ヲ開イテ
行ツタト云フ現實ノ實例ガアル、之ヲ若シ日本ノヤウニ今西村君ノ云ハル、ガ如キコトニ
致シマシタラバ、愈々日本ノ農民ハ窮地ニ陥ルト云フコトデアアル、斯ノ如キコトハ長ク辯
ゼヌデモ宜シウゴザイマスカラ、ドウゾ直チニ委員付託ニセラレシコトヲ希望致シマス

○議長(長谷場純孝君) 細野次郎君ガ質問ガアルト云ヒマスカラ其質問ダケヲ許シ

○細野次郎君 本問題ハ恐ラク提出者ガ豫期セラレタルヨリ以上重大ナル關係アル

問題デゴザイマス、提出者曰ク、爲シ得ベクハ獨逸ノ輸入稅マデ上ゲタイト、獨逸ガ穀物ニ對スル輸入稅ノ高イハ如何ナル原因デアラカ、提出者ハ御存ジデアリマス、獨逸ノ主義ハ獨逸國ノ食料ハ自國ノ產ニ限ルト云フ經濟主義カラ、爲シ得ベクハ獨逸國ノ食料ハ獨逸國ノ生産ヲ以テ足リルヤウニシタイト云フノガ獨逸立國ノ主義デア、若シ提出者ガ日本モ亦日本ノ要スルモノヲ食料ハ日本ノ農產物デ足リルヤウニシタイト云フナラバ、四十年來ノ日本ノ經濟方針ヲ根本ニ於テ改メ、左程ノ決心ガアルヤ否ヤ、第二ニハ米價騰貴ハ世間好景氣ノ原因デア、是ハ一冊ノ經濟書ヲ讀ンダ人モ皆知リ得ル誤デア、米價ノ騰貴ハ好景氣ノ原因ニアラズシテ好景氣ノ原因ニ依ッテ米價騰貴ノ結果ヲ來タスデア、其原因ト結果ヲ誤ルニ至ッテハ帝國議會多數ノタメニ惜ムデア、何レノ國ガ其國ノ食料ノ價ノ騰貴ヲ希望スル愚ガアリマセウカ、併ナガラ提出者ノ意思ヲ忖度シマスレバ餘リニ米價ガ下落シマスル際ニ於テハ農民ガ苦シムデアラウト云フノ趣意カラデゴザリマセウナレドモ、事實ニ於テハ其目的ハ全ク達セラレナイト信ズ、提出者曰ク、日露戰後米價騰貴シテ好景況デアッタト、其際ニ於テハ其米價ニ御満足デアリマシタラウ今日米價ガ下落シテ困ル、困ル際ニ關稅ヲ上ゲマスレバ本年ハ一俵一ノ輸入ノ無イニ關稅ヲ高クシテ米價ヲ上ゲヤウト云フノハ、飲過ギタモノニ酒ヲ飲マサウト云フヤウノ愚デアラウト思ヒマス、本年ノ米價ヲ維持スルガためニ輸入稅ヲ高クシテ其粒效アリト信ズルヤ否ヤ

○恆松隆慶君 本案ハ議長指名十八名ノ委員ニ付託アラシコトヲ望ミマス

(贊成々々ト呼フ者アリ)

○議長(長谷場純孝君) 提案者ヨリ答辯ガゴザイマセヌノミナラズ、恆松君ヨリ動議ガ出マシタ、恆松君ノ動議ノ如ク本案ハ議長指名ノ委員十八名ニ付託スルニ云フコトニ御異議ハゴザイマセヌカ

(異議ナシ異議ナシト聲起ル)

○議長(長谷場純孝君) 御異議ハナイト認メマスカラ、其通り決シマス日程第十、關稅定率法輸入稅表中改正法律案第一讀會ヲ開キ、議案ノ朗讀ヲ省略致シマス——提出者藤井善助君

第十 關稅定率法輸入稅表中改正法律案(藤井善助 第一讀會)

君外一名提出)

關稅定率法輸入稅表中改正法律案

一〇ノ一	白米	每百斤	一、〇〇〇
一〇ノ二	玄米及初	同	〇、六四

附則

本法ハ明治四十二年十月一日ヨリ之ヲ施行ス

(藤井善助君登壇)

○藤井善助君 本員ハ關稅定率法中輸入稅表中改正法律案ヲ提出致シマシタ、唯今西村君ニ依リマシテ前ノ千田君ノ提案ニ對シ、所謂大惡案ノ片割カノ如キ語氣ノヤウナ御言葉ガアリマシタガ、本員ハ本案ヲ以テ國家經濟上一日モ忽ニスベカラザルモノト信ズルガ故ニ、最モ簡單ニ提出ノ理由ヲ述ベヤウト存ジマス、我邦ガ近來外國ヨリ供給ヲ仰ギマスル輸入米ノ數額ハ近キ數年ヲ平均シテ約年額五千萬圓ニ達スルデアリマス、我邦ノ進運ハ益々此輸入米ノ數量ヲ増加セシメツ、アルノデアリマス、然ルニ米ニハ未製品トモ言フベキ玄米ト既製品トモ言フベキ白米トノ二種ガアリマスガ、世界何レノ國ニ

於キマシテモ其關稅政策上未製品ト既製品トノ間ニハ其稅率ニ相當ナル等差ヲ設ケマシテ、少クとも未製品ヲ輸入シテ自ラ之ニ加工シ得ラル、トコロ餘地ヲ存スルノガ關稅政策上ノ通則トナッテ居ルデアリマス、然ルニ我國ノ現今ノ關稅定率ニ依リマスル、此未製品タル玄米ト既製品タル白米ト其間何等ノ等差ヲ置カズ、此通則ニ異ッテ居ルトコロ一ツノ變體ヲ來シテ居ルデアリマス、斯ル變體ヲ來シテ居ル以上ハ其不利益ハ之ニ伴ヒマシテ、現行ノ關稅法ノ實施以來玄米ノ輸入ハ殆ド杜塞サレ白米獨リ輸入サレノデアリマス、其結果タルヤ此玄米ヲ輸入シテ之ニ加工シテ白米ニスル、初ノ搾取工資及精白等ノ工資ノ收入及其加工ヨリ生ズル幾多ノ副產物ノ收利ヲ失フト云フ不利益ヲ被ッテ居ルデアリマス、斯ノ如キ不利益ハ現行ノ關稅定率法ノ存在ニシテ一日長ケレバ國家經濟上ノ不利益ヲ一日長クスル次第デアリマスガ、如何ニシテ之ヲ匡濟スルデアリマセウカ、要スルニ此未製品タル玄米ト既製品タル白米ト輸入稅率ニ相當ノ等差ヲ設ケルノガ唯一ノ方法ト信ズルデアリマス、然ラバ此玄米ト白米トノ間ニ幾許ノ等差ヲ設ケルノガ相當デアラカトシマスルニ、本員ノ調査シタル處ニ依リマスル、少クトモ 每百斤二十五錢以上ノ等差ヲ設ケルコトガ相當デアルト云フ算出ヲ得ルノデゴザイマス、其根本モ一々示スコトヲ得マスガ、數字ニ互リマスカラ茲ニ省略致シマス、斯ノ如ク等差ヲ設ケマシテ玄米ノ輸入ヲ誘致スルコトガ此不利益ヲ除クコトノ唯一ノ方法デアルト存ジマス、斯ノ如クスルニ於テハ總テノ關係ヲ觀察シマスルニ、商業方面カラハ白米ノ代リニ玄米ヲ輸入スルノデアラカラ貿易關係ニ於テ何等ノ影響モナイ、工業方面カラ見マスレバ未製品タル玄米ヲ輸入シテ之ヲ精白シ、其工資ノ收入及副產物ノ收益ヲ併セ得ルノデアリマスカラ、是亦何等影響ハナイ又農業ノ方面カラ見マスレバ玄米ヲ輸入スルノデゴザイマスカラ、農民ニ取ッテハ何等ノ惡影響ヲ受クルコトナク彼等ノ品質アルハ良イ優等ナル價ノ高キモノト、ヨリ劣等ナル價ノ低キモノト彼我交換スルノ利益ガアルノデアリマス、而モ尙我關稅政策ノ上カラ見テモ小麦ニ對スル麥粉此兩者ノ稅率ノ間ニハ相當ナル等差ヲ置イテ居ル上カラ見テモ、玄米ト白米ト同ジ稅率ノ上ニ置クト云フコトハ關稅政策ノ上ニ矛盾ヲ來シテ居ルデアリマスカラ、之ヲ匡正スルノ當然ナルコトヲ認メマス、本案ハ斯ノ如キ次第デアリマシテ何等ノ惡影響ヲ受ケル方面ハナイト信ジマスカラ十分御審議ノ上本案ノ通過ニ御盡力アラシコトヲ希望致シマス

○議長(長谷場純孝君) 恆松君動議ノ如ク、本案ハ日程第九ト同一委員ニ付託スルコトニ御異議アリマセヌカ

(異議ナシト呼フ者アリ)

○議長(長谷場純孝君) 御異議ナイト認メマスカラ、其通り決シマス、日程第十一、狩獵法中改正法律案一讀會ヲ開キマス、議案ノ朗讀ハ省略致シマス、提出者上桀安太郎君

第十一 狩獵法中改正法律案(上桀安太郎君外三名 第一讀會)

提出)

狩獵法中改正法律案

第十二條 甲種免狀ノ有效期限ハ十月一日ヨリ翌年四月三十日迄トシ乙種免狀ノ有效期限ハ十月十五日ヨリ翌年四月十五日迄トス但シ北海道ニ於テハ九月十五日ヨリ翌年四月三十日迄トス

（上）上安太郎君登壇

○上安太郎君 諸君、此案ハ極ク簡單ナル改正案アリマシテ、特權法中ノ第十二條ノ免許期限ヲ甲乙ノ兩種ニ分チマシテ、甲種ト云フハ即チ網ヲ以テ鳥ヲ獲ルノデアリマス、此期限ヲ前後十五日間延長スルノ改正案アリマス、之ヲ改正スル理由ハ理由書ニモ書イテ置キマシタ通り、全國ノ氣候ガ一定致シメヌカラ鳥ヲ捕獲スル時期モ亦一定セヌデアリマス、現今ノ法律ハ季節ヲ失スル地方ガ多クデアリマス、現ニ私共ノ北陸地方ノ如キハ季節ヲ失スルメニ、此業ニ從事致シテ居ルモノハ非常ニ困難ヲ致シテ居ルヤウナ次第デアリマス、此期限ヲ前後十五日間延長シテ、全國一般ニ此法律ヲ適用シテ誤リノナイヤウニシタイデアリマス、尤モ此法律ハ明治二十四年ニ改正ニナリマシタノデ、其改正前ノ舊法即チ古イ法ニハ、斯ウ云フ風ニナッテ居タノデアリマス、「甲種免狀ノ分ハ有效期間ハ十月十五日ヨリ滿一箇年トス但シ地方長官ハ土地ノ狀況ニ依リ農商務大臣ノ認可ヲ經テ前後ノ期限ヲ三十日以内伸縮スルコトヲ得」トアリマス、此但書ニ依ッテ地方長官ハ適當ニ伸縮シタノデアリマス、所ガ二十四年ノ改正ニ於テ此但書ヲ取ッテシマッタノデアリマス、ソレデ是非共此前後ヲ延長スルノ改正ヲシナケレバナラヌ必要ガ起ッタノデアリマス、右様ノ次第デアリマスカラドウカ諸君ニ於キマシテモ十分御審議ノ上御協賛アラントラ希望致シマス

○恆松隆慶君 本案ハ九名ノ議長指名ノ委員ニ付託アラントラ希望致シマス

○議長（長谷場純孝君） 恆松君ノ動議ノ如ク議長指名ノ九名ノ委員ニ付託スルコトニ御異議アリマセヌカ

（異議ナシ異議ナシ「ト呼フ者アリ」）

○議長（長谷場純孝君） 御異議ハナイト認メマスカラ、其通リ決シマス、日程十二、十三、十四ハ同一委員ニ付託サレタ議案デアリマスカラ同時ニ委員長ヨリ報告ヲ致シマス、委員長古賀庸藏君

第十二 衆議院議員選舉法中改正法律案

第一讀會ノ續（委員長報告）

（古賀庸藏君登壇）

○古賀庸藏君 私人衆議院議員選舉法中改正法律案委員會ノ經過及結果ヲ御報告致シマス、而シテ今議長ヨリ申サレマシタ如ク、是ハ二件ニ分レテ居リマスカラ一件毎ニ報告致シマス、第一案ハ衆議院議員選舉法中第十一條ノ第四號ヲ削ラウト云フ原案デアリマス、シテ此原案ノ趣意ニ於キマシテ僅ニ四號ヲ削ルト云フ簡單ナ次第デアリマスガ、頗ル是ハ議論ノ多イ箇條デアリマス、此議論ニ於キマシテハ過ルニ十三日ノ院議ニ於キマシテ高野孟矩君外兩君ノ資格問題ニ於キマシテ十分議論モ關ハサレ、ハヤ餘地ナキト云フヤウナ時機ニモ達シテ居マシタカラ、委員會ハ其議論ニ於キマシテ格別議論ハ致サナゲ、次第デ、然ルニ政府委員ノ意見ニ於キマシテハ此箇條ハ公職ヲ重シズル上ニ於テ現法ヲ宜イトスル、斯ウ云ウ意見デアリマス、委員會ハ大多數ヲ以テ原案ヲ可決致シタ次第デアリマス、日程第十三ハ是ハ選舉區ニ關スル法律案デアリマス、即チ横須賀市ニ一人、佐世保市ニ一人、吳市ニ一人及別表ノ末項ヲ削ルト云フノ案デアリマス、然ルニ委員會ニ於キマシテハ此増加スル二市ノ外福島縣福島市、新潟縣長岡市、長野縣松本市、三重縣宇治山田市、愛知縣豐橋市、此各市ニ一人ヲ増加スル、即チ原案ハ三市デアッタノニ、修正ハ尙五市ヲ加ヘタイト云フノ意見デアリマス、ソレカラ又修正意見ガ出マシテ是ハ沖繩縣那覇區、首里

區、島尻區、中頭郡、國頭郡ニ一人トアル、之ヲ沖繩縣二人トシマシテ、此三區二郡ヲ削除シタイト云フノ修正デアル、此理由ハ他ニ八重山島、宮古島等ニ選舉權有シテ居ル者ガアルニ拘ハラズソレ等ハマルデ選舉權有シナガラ選舉スルコトガ出來ナイト云フ有様ニナッテ居ルカラシテ、此三區二郡ヲ削レバ即チ沖繩縣二人トシテ選舉權ガ實施サレコトニナル、斯フ云フ次第デアル、政府委員ニ於テハ是ハ制定ノ當時交通ノ不便ヨリシテ除イタ次第デアルケレドモ、今日ハ交通ノ便モ著々立ッテ來ルニ於テハ、格別異論ハナイト云フヤウナコトデアリマシタ、今一ツノ修正ハ原案ニ別表ノ末項ヲ削ルト云フコトデアリマス、然ルニ此末項ニ於テハ別段削ルノ必要ガナイト云フノ修正説ガアッテ、即チ末項ヲ削ルト云フコトノ原案ヲ削ルト云フコトニ修正ヲ致シタ次第デアリマス、而シテ此原案三市修正ノ五市通ジテ八市ノ増加及末項ノ件ニ付キマシテ政府委員ノ所見ハ彼ノ末項ニ於テハ、本表ハ選舉區ノ人口ニ増減ヲ來スモ少クモ十箇年之間ノ更正セズ、ト斯ウ云フ點ニ於テ不同意デアル、斯ウ云フ事柄デアリマス、然ルニ委員會ハ此主項ノ趣意ハ即チ在來アルコロノ選舉區ニ於テ人口ニ増減ヲ來シタ場合ヲ指スモノデ、新タニ選舉區ガ生ジタ場合ニ適用スベキ箇條デアリ、斯ウ云フ意見デ結局委員會ハ本案ハ別表ノ末項ヲ除クノ外、即チ修正案ノ通りニ多數ヲ以テ可決シタ次第デアリマス、其次ハ選舉法記名無記名ノ件デアリマスガ、是ハ提出者ヨリ報告延期ノ要求ガアリマシタカラ是ハ延期致シテ置キマス、左様ナ次第デアルカラシテドウカ御贊成アラントラ望ミマス

○議長（長谷場純孝君） 先ヅ日程第十二、衆議院議員選舉法中改正法律案、花井卓藏君外一名提出第一讀會ノ續ヲ開キマス

○恆松隆慶君 本案ハ直チニ二讀會ニ移ランコトヲ望ミマス

○議長（長谷場純孝君） 直チニ二讀會ヲ開クコトニ御異議アリマセヌカ

（異議ナシ異議ナシ「ト聲起ル」）

○議長（長谷場純孝君） 御異議無イト認メマスカラ其通リ決シ、直チニ第二讀會ヲ開キ、議案全部ヲ議題ニ供シマス

衆議院議員選舉法中改正法律案

第二讀會

○恆松隆慶君 一讀會ニ於テ讀會ヲ省略シテ委員長報告通リ確定セラレンコトヲ望ミマス

○議長（長谷場純孝君） 讀會ヲ省略シ委員長報告通リ確定スルニ御異議アリマセヌカ

衆議院議員選舉法中改正法律案

確定讀

（異議ナシ異議ナシ「ト聲起ル」）

○議長（長谷場純孝君） 御異議ナイト認メマスカラ其通リ決シマス、本案ハ是ニテ確定致シマシタ、次ニ日程第十二、衆議院議員選舉法中改正法律案小泉又次郎君外七名提出、第一讀會ノ續ヲ開キマス

第十三

衆議院議員選舉法中改正法律案（小泉又次郎君外七名提出）

○恆松隆慶君 直チニ二讀會ヲ開カレンコトヲ望ミマス

○議長（長谷場純孝君） 直チニ二讀會ヲ開クコトニ御異議アリマセヌカ

（異議ナシ異議ナシ「ト聲起ル」）

○議長(長谷場純孝君) 御異議無イト認メスカラ、直チニ二讀會ヲ開キ議案全部ヲ議題ニ供シマス

衆議院議員選舉法中改正法律案

第二讀會

○議長(長谷場純孝君) 讀會ヲ省略シテ、是亦委員長報告通り確定セラレンコトヲ望ミマス

衆議院議員選舉法中改正法律案

確定議

○議長(長谷場純孝君) 御異議無イト認メスカラ其通り決シマス、本案ハ是ニテ確定シマス、日程第十四ハ唯今委員長ヨリ述べラレタ通り延期ノ申出ガアリマス、延期シテ御異議アリマセヌカ

(異議ナシ異議ナシ)ノ聲起ル

○議長(長谷場純孝君) 御異議が無ケレバ、日程第十四ハ延期スルコトニ致シマス、日程第十五、商法中改正法律案第一讀會ノ續キヲ開キマス、委員長古賀庸藏君

第十五 商法中改正法律案(松田源治君)

第一讀會ノ續(委員長)

(古賀庸藏君登壇)

○古賀庸藏君 唯今議題ニ供セラレマシタ商法中改正法律案ノ委員會ノ經過及經過及結果ヲ御報告シマス、此改正案ハ諸君御承知ノ如ク即チ商事會社ガ合併スル場合ニ於キマシテ、此合併ノ登記ノ濟ムマデハ雙方ノ會社ノ實質書替ガ出來ナイ次第アル、然ルニ實際ノ狀況ニ於テハ甚ダ不便ヲ來タシ又融通モ止マルト云フ事柄ヨリシテ、即チ其改正ヲ提出サレタ次第アル、然ルニ政府ノ意見ハ目下商法ノ調査中デアッテ、明年ニ於テハ提出ヲ致ス考デアルカラ其提出ノ場合ニ於テハ斯ノ如キ案ヨリ以上ノ案ガ提出セラレ、コトデアラウト信スル、就テハ敢テ反對デハナイケレドモ、即チ其時ニ於テハ全部ノ改正モアルコトデアルカラ、今日ハ直チニ同意ハ出來難イ、斯ウ云フ意志デアリマス、然ルニ委員會ハ全會一致ヲ以テ原案ヲ可決スルコトニ致シマシタ、此段御報告致シマス

○恒松隆慶君 本案ハ直チニ二讀會ヲ開カレンコトヲ望ミマス

(贊成々々)ト呼フ者アリ

○議長(長谷場純孝君) 直チニ二讀會ヲ開クト云フ恒松君ノ動議ニ御異議ハアリマセヌカ

(異議ナシ異議ナシ)ト呼フ者アリ

○議長(長谷場純孝君) 御異議ガナイト認メスカラ其通りニ決シテ、直チニ二讀會ヲ開キ、議案全部ヲ議題ニ供シマス

商法中改正法律案

第二讀會

○恒松隆慶君 三讀會ノ順序ヲ略シ委員長報告通り確定セラレンコトヲ望ミマス

商法中改正法律案

確定議

(異議ナシ異議ナシ)ト呼フ者アリ

○議長(長谷場純孝君) 御異議ガナイト認メスカラ其通り決シマス、本案ハ是ニテ確定シマス、日程第十六、印紙稅法中改正法律案、木村半兵衛君外一名提出第一讀會ノ續ヲ議題ニ致シマス、特別委員長、長島繁太郎君

第十六 印紙稅法中改正法律案(木村半兵衛君外一名提出)

(長島繁太郎君登壇)

○長島繁太郎君 是ヨリ印紙稅法中改正法律案ノ委員會ノ經過ヲ御報告致シマス、本案ハ極メテ簡單ナル法案デアリマシテ地方雜物市場ニ於テ小額ノ約束手形ヲ發行スル慣習デアラタ、其慣習ヲ妨ゲテ實際ノ不便ヲ感ジテ居ルコト、現行ノ印紙稅法ヲ改正スルコト云フコトガ本案ノ趣意アル、サウシテ委員會ニ於キマシテハ全會一致ヲ以テ可決シタデアリマス、委員會ノ經過ニ付キマシテハ別段速記ヲ用井ヌデアリマシタカラ簡單ニ其經過ヲ御報告致シマス、委員會ニ於キマシテハ政府ノ意見ヲ求メマシタコト、政府ニ於テハ現行ノ稅ヲ減ズルコト云フ法案ニ於テハ原則トシテ反對ス、政府ノ見込デハ此改正案ニ依ラデ稅ガ減ルト云ヒ、委員會ニ於テハ却テ此改正ノ結果少額ノ手形ヲ發行スル數ガ殖ヘルカラ稅ガ増ス、斯ウ云フ意見ガアッタデアリマス、併ナガラ何レモ見積リデアルノデアリマスカラ其額ニ付キマシテハ別ニ申述ベマセヌ、唯政府ノ稅ヲ減ズルト云フ案ニハ原則トシテ反對スルコト云フコトニ對シテ、委員會中ヨリ致シマシテハ、サウハ參ラヌデアル、ト云フハ現ニ三十七年ノ非常特別稅ヲ以テ小切手ニ對シテハ一錢ノ印紙ヲ徵シテ居ラヌヲ四十年ニ於テハ其稅ヲ廢シタデアル、デアルカラシテハ是ハ全ク實際ノ便不便ト云フコトヲ鑑ミテ改正ヲ致シタデアルカラ、其理由ヲ以テマシテ委員會ニ於テハ全會一致ヲ以テ可決シタデアリマス、併ナガラ斯ウナ案ニ付キマシテハ成ルベク政府ノ同意ヲ得タイト云フ考デアリマスカラシテ、委員會ヲ閉デルト同時ニ尙政府ノ再考ヲ求メタデアリマス、所ガ其後政府デハ多少ノ修正ヲスラバ別ニ異存ガナイ、提出者ニ於テモヤハリ政府ノ見込ノ通りナラバ異存ガナイト云フコトデゴザイマス、イアレ私ハ二讀會ノ際ニ於キマシテ修正ノ意見ヲ提出スル積リデアリマス、然ルベク御審議ノ上ニ御採決ヲ願ヒマス

○議長(長谷場純孝君) 日程第十六、印紙稅法中改正法律案第一讀會ノ續

○恒松隆慶君 本案ハ直チニ二讀會ヲ開カレンコトヲ望ミマス

○議長(長谷場純孝君) 直チニ二讀會ヲ開クト云フコトニ御異議ハアリマセヌカ

(異議ナシ異議ナシ)ト呼フ者アリ

○議長(長谷場純孝君) 御異議ガナイト認メスカラ直チニ二讀會ヲ開キ、議案全部ヲ議題ニ供シマス

印紙稅法中改正法律案

第二讀會

○長島繁太郎君 私ハ修正ノ動議ヲ提出シマスガ、ウレハ原案ノ第三條中「金高千圓以下ノモノ印紙稅五錢」ヲ前ニ「金高百圓以下ノモノ印紙稅二錢」ヲ加フトアル、其百圓ノ上ニ「二」ヲ加ヘテ「二百圓」ト致シマス、二百圓以下ノモノ印紙稅「二錢」ヲ「三錢」ト直ス、即チ「金高二百圓以下ノモノ印紙稅三錢」ヲ加フ「斯ウ云フコトニ修正致シタイト思ヒマス

(贊成々々)ト呼フ者アリ

○木村半兵衛君 本員ハ此案ヲ提出シマシタ後ニ、唯今委員長ヨリ報告ノアリマシタヤウナ政府ノ同意ヲ求メラレタ修正案ガ出マシタ、故ニ改メテ此修正案ニ贊成ヲ致シマス

(贊成々々)ト呼フ者アリ

○議長(長谷場純孝君) 木村君ハサウスルト長島君ノ修正ニ贊成デスナ

○木村半兵衛君 左様デス

○議長(長谷場純孝君) 長島君ノ修正說ニハ定規ノ贊成ガアリマスカラ、是ニ付テ

採決ヲ致シマス、長島君ノ修正ニ御異議アリマセヌカ

(異議ナシ異議ナシト呼フ者アリ)

○議長(長谷場純孝君) 御異議ガナイト認メマスカラ、其通決シマス

○松松隆慶君 直チニ三讀會ヲ開キ、一讀會可決ノ通決定セラレコトヲ望ミマス

○議長(長谷場純孝君) 直チニ三讀會ヲ開クト云フコトニ御異議アリマセヌカ

(異議ナシ異議ナシト呼フ者アリ)

○議長(長谷場純孝君) 御異議ナイト認メマスカラ、直チニ三讀會ヲ開キ、議案全部ヲ議題ニ供シマス、二讀會可決ノ通御異議アリマセヌカ

印紙稅法中改正法律案

確定讀

(異議ナシ異議ナシト呼フ者アリ)

○議長(長谷場純孝君) 御異議ガナイト認メマスカラ、二讀會可決ノ通決定シマス、本案ハ是ニテ確定致シマス、日程第十七、大船渡鐵道鐵業補給ニ關スル建議案ヲ議題ト致シマス、議案ノ朗讀ヲ省略致シマス、提出者阿部德三郎君

第十七 大船渡鐵道鐵業補給ニ關スル建議案 阿部德三郎君 外二十九名提出

大船渡鐵道鐵業補給ニ關スル建議案

東北ハ到處鐵道鐵業補給ニ關スル其金銅亦豐富ナリ故ニ國力發展ノ爲輿論風ニ其ノ開發ヲ急要ト認ムルモ交通不便ノ結果未タ之ヲ果サス而シテ今日ノ財政狀態ヲ以テハ彼ノ鐵道敷設法ニ據ル東北橫貫鐵道ノ豫定線ハ其ノ敷設ヲ見ルコト前途遙遠タラサルヲ得幸ニ民業ヲ以テ大船渡鐵道ヲ起シ且鐵業ヲ計營スルノ計畫アリ本院ニ於テ之ヲ利子補給ヲ建議スルコト既ニ四回ニ及ヒタリト雖未タ其ノ目的ヲ達スルニ至ラサルハ國力發展ノ爲定ニ遺憾トスル所ナリ然レトモ政府ハ本院ノ此ノ建議ニ基キ曩ニ特ニ調査委員ヲ設ケテ鐵道線路及鐵道ノ審查ヲ遂ケ前期議會ニ於ケル特別委員會ニ對シ之ヲ報告ヲ爲ス所アリ且成ルヘク勉メテ此ノ建議ノ趣旨ニ副ハムコトヲ期スヘント言明セラレタリ元來此ノ鐵道線路ハ大船渡ヨリ中央東線ヲ經テ横手ニ至ルヘキ計畫ニ係ルト雖今日ノ財政狀態ニ鑑ミ姑ク其ノ線路ヲ二期ニ分チ第一期ハ大船渡ヨリ花巻ニ至ル六十八哩ニ止メムトス此ノ線路固ヨリ鐵道敷設法ノ豫定線路以外ニ係リ一地方ノ交通ヲ目的トスル鐵道ナルヲ以テ之ヲ民業タラシムルモ鐵道國有法ニ矛盾スル所ナシ唯其ノ沿道多クハ山嶽重疊道路起伏シ工費意外ニ多額トナリ抄クモ一千二百萬圓ヲ下サルヘク其ノ外ニ鐵業ノ爲必要ナル資本額ヲ要シ隨テ初メヨリ民業獨力ノ計畫ニ堪ヘサル亦止ムヲ得サルナリ唯夫レ其ノ成立ヲ急速且容易ナラシムルニハ初メ二箇年間に鐵道ニ對スル資本十分一ノ拂込ニ止メシムルハ拂込資本額ニ對スル初年ノ補給額ハ知ルヘキニ依リテ政府ハ速ニ此ノ民業必要ノ資本ニ對シ向フ十五箇年間拂込ミ資本ノ年六朱ニ達スル迄補給利子ヲ下付スヘキ議ヲ定メ本期議會ニ之ヲ提案アラムコトヲ望ム

右建議ス

(阿部德三郎君登壇)

○阿部德三郎君 建議ノ趣意ハ御手許ヘ回ッテ居リマスルトコロノ建議案ニ精シク書イテアリマスカラ、私ハ此處ニ於キマシテハ其大要ヲ述ベテ、サウシテ一言ヲ附加ヘテ政府ニ注意ヲ請ヒタイノデアリマス、デ此案ノ要旨ハ東北振興ノタメニ東北ノ富源開發ノタメニ鐵手懸下ノ大船渡ヲ開港場ニ致シタイ、ソレニハ先以テ鐵道ヲ敷カナケレバナラヌ

譯デアリマスガ、サテ政府ノ計畫致シマスルトコロノ鐵道敷設法ニ依リマスルト前途ハ甚ダ遠遠デアリマシテ、幾十年ノ後ニ其目的ヲ達スルニ至ルノデアリマスルカ、殆ド分ラヌヤウナ有様デアリマス、故ニ吾々ハ此際ニ於テ私設鐵道會社ノ利子ノ補給ヲ致シテ、サウシテ此速成ヲ致シタイ、斯ウ云フガ本案ノ要旨デアリマス、一體此大船渡ノ建議案ト申スモノガ本院ニ現ハレマシタノハ明治三十二年ノコトデアリマス、爾來年々閱スルコト十一年、其間ニハ内容ハ多少異ナリマスケレドモ、同一ノ目的ノ建議案ガ既ニ本院ニ於テ六回モ繰返サレタルデアリマス、私ノ記憶致シマスルトコロニ依リマスルト、本院ニ現ハレマシタルコトコロノ建議案モ數多イノデガイマスケレドモ、同一ノ案ガ六回モ繰返サレタルコトヲ云フウナコトハ未ダ其例ヲ見ナイトコロノ案デアリマス、而シテ此案ハ常ニ本院ニ於テ非常ナル所ノ御同情ノアリマス案デアリマシテ、是マデ六回モ提出致シマスルガ、本院ニ於キマシテハ黨ノ内外ヲ問ハズ、提出者モ贊成者モ各派通ジテ御署名ヲ下サルヤウナ次第デアリマシテ、從ッテ委員會ニ於キマシテ亦本會議ニ於キマシテモ常ニ滿場一致ヲ以テ可決シ來タコトコロノ此案デアリマス、斯ノ如キ同情ノ多キ歴史ヲ持ッテ居ルトコロノ此案ハ今日ニ至ルマデ未ダ政府ノ採用スルトコロトナラヌト云フハ實ニ私共ノ遺憾ニ堪ヘヌトコロデアリマシテ、殊ニ又東北發展ノタメニハ大ニ悲シマナケレバナラヌトコロノコトデアリマス、從來此案ニ對スル所ノ政府ノ態度ト云フモノハ甚ダハキリ致サヌデアリマス、或ハ採用スルガ如ク、或ハ採用セザルガ如ク、私共ハ殆ド之ニ付テ五里霧中ニ迷ッテ居ルヤウナ次第デアリマス、然レニ前議會ニ於キマシテ政府ハ此案ハ衆議院ヨリ屢ニ建議サル、ハトコロノ案デアリマス、之ニ向ッテハ十分好意ヲ以テ攻究モ致シ、又調査ヲ進ムルデアラト云フコトヲ約束ヲ致サレタルデアリマス、此約束ヲサレタノハ即チ昨年ノ丁度今頃ノコトデアリ、既ニ殆ド一年モ經過致シテ居ルノデアリマスカラ、政府ノ御調査モ十分ニ進行サレタコトデアリト私ハ信ズルノデアリマス、故ニ政府ハ此際ニ於テ吾々ノ希望ノ如ク此建議ノ趣旨ヲ採用サレテ相當ノ御提案アラント云フ私ハ希望スルノデアリマス、終リニ私ハ政府ニ一言致シテ置クノデアリマス、此案ハ以上述べマスル如ク非常ナル御同情ヲ以テ本院ニ可決セラレタコトコロノ案デアリマスケレドモ、政府ハ未ダ之ヲ採用スルコトニ付テ明言サレナイノデアリ、吾々ハ實ニ遺憾トスルノデアリマス、是ニ於テ若シ政府ガ此案ニ對シテ到底同意ヲスルコトガ出來ナイ、到底採用スルコトガ出來ナイト云フヤウナ方針ヲ取ッテ居ラレタルデアリマスナラバ、私ハ此際之ヲ採用スルコトガ出來ナイト云フコトヲ聲明シテ貴ヒタイト思フノデアリマス、諸君、吾々ハ明治三十一年以來今日ニ至ルマデ既ニ此建議案ヲ此議場ニ於テ六回モ繰返シマスルニ付テハ、地方ノ人民ハ一縷ノ望ヲ以テ多大ノ費用ヲ投ジテ是ヲ調查ト運動ヲ繼續シ來タノデアリマス、然レニ若シ政府ハ絕對ニ此案ヲ採用スルコトガ出來ナイト云フコトデゴザイマシタナラバ、私ハ寧ロ此際ニ於テ政府ノ所信ヲ明カニシテ吾々地方人民ノ民心ノ歸スル處ヲ定メテ貴ヒタイト私ハ思フノデアリマス、或ハ採用スルガ如ク、或ハ採用セザルガ如ク、釣物ニシテサウシテ何時マデモ迷ハサレテ居ルニ云フコトハ實ニ吾々ノ痛ハス處デアリマス、故ニ私ハ今回ハ此建議案ヲ以テ政府ノ所信ノアルコトヲ確メテ而シテ此案ノ運命ヲ決シタイト思フノデアリマス、ドウカ十分ナルコトコロノ政府モ御同情ヲ以テ此案ノ解決ヲ與ヘラレントコトヲ私ハ希望致シマス(拍手起ル)

○松松隆慶君 本案ハ十八名ノ委員、議長指名アラント云フ望ミマス

○議長(長谷場純孝君) 今ノ松松君ノ勸諭、即チ本案ヲ議長指名ノ委員十八名ニ付託スルト云フコトニ御異議アリマセヌカ

(異議ナシト呼フ者アリ)

○議長(長谷場純孝君) 御異議ナイト認メマスカラ其通決シマス、日程第十八、園

藝講習所設置ニ關スル建議案、議案ノ朗讀ヲ省略シマス、提出者鈴木辰次郎君

第十八 園藝講習所設置ニ關スル建議案(松浦五兵衛君外一名提出)

園藝講習所設置ニ關スル建議案

方今我が國ノ農業タルヤ其ノ學ト術トノ進步ニ伴ヒ幾多ノ專門的分科ニ岐レ風土ノ宜キニ從ヒ各科各分業のニ之カ經營ヲ爲シ進步發達シキモノアリト雖獨リ園藝ニ至リテハ僅ニ一ノ國立試驗場アルノミニシテ其ノ學ト術トヲ普及セシムルノ方法ニ於テ極メテ闕如タルヲ免レズ
惟フニ我が國ノ如キ集約的農業ニ在リテハ園藝ノ如キハ最致利増益ノ事業ニシテ國民生活狀態ノ變化ニ依リ益其ノ需要ヲ増加スルノミナラス晚近蔬菜柑橘其ノ他ノ園藝生産物ニシテ滿韓、西比利亞ノ各地へ輸出セララルモ年々其ノ額ヲ増加シ殊ニ柑橘ノ如キ遠ク北米ニ迄輸出セララルモノアルニ至リ爲ニ園藝生産物ヲ以テ農家收入ノ大部分ヲ占ムルノ町村少ナカラサルノ盛況ヲ呈スルニ至レリト雖之カ研究實習ノ設備極メテ不完全ナル爲其ノ栽培鋤耕ノ進步見ルニ足ルモノナシ豈斯界ノ一大恨事ニアラスヤ
見ヨ水産業ノ如キ亦養蠶業ノ如キ專門的講習所設置ノ結果タルヤ其ノ效偉大ニシテ進步發達ノ實蹟顯著ナルモノアルニ非サヤ此ノ時ニ當リ園藝試驗場附近ニ園藝講習所ヲ設立シ一面ニ於テハ之カ研究試驗ヲ爲シ一面ニ於テハ其ノ學藝技術ヲ講習セシメ專門的技術者ヲ養成シ以テ當業者ヲ指導啓發シテ國利ノ増進、國本ノ培養ヲ企圖スルハ蓋刻下ノ最大急務ナリト認ム依リテ政府ハ速ニ其ノ調査ヲ遂ケ明治四十二年度ニ於テ農商務省園藝試驗場附近ニ園藝講習所ヲ設置セラレムコトヲ望ム
右建議ス

(鈴木辰次郎君登壇)

○鈴木辰次郎君 本員ハ唯今議題ニナリマシメトコロノ園藝講習所設置ニ關スル建議案ノ提出者ノ一人ト致シマシテ聊提出ノ理由ヲ陳述致シテ置カウト思ヒマス、諸君モ御承知ノ如ク我農業ノ狀態ヲ見マスル學理ノ應用ニ實地ノ經驗ニ伴ヒマシテ大ニ進步ノ域ニ進シテ居ル、而シテ土地ノ狀況或ハ風土ノ關係ニ依リマシテ種々分レ、或ハ蠶業ノ如キ、或ハ茶業ノ如キ、若クハ園藝ノ如クニ專門的ニ是ガ進步致シテ居ルノデゴザイマス、而シテ養蠶業ノ如キハ最モ著シトコロノ發達ヲ來シテ居ルノデゴザイマス、然ルニ此園藝ニ付キマシテハ或ハ蔬菜ノ如キ、或ハ果樹ノ如キ、或ハ草花ノ如キ、社會ノ必要ニ應ジテ大ニ進步ヲ致シテ居ルヤウナ次第デゴザイマス、併ナガラ熟シ此實況ヲ顧ミマスル、未ダ以テ此園藝ニ對スルコトヲ施設ハ何等ノ施設ヲ致シテナイヤウニ私ハ感ズルノデゴザイマス、我國ノ農業ハ最モ集約的ノ農業デアリマシテ、此園藝ノ如キコトハ我國ノ農業界ニハ最モ適切ナルコトヲ事業デアルト私ハ信ズル、柑橘ノ如キ、或ハ蔬菜ノ如キモノニ對シマシテハ、滿洲韓國ヲ始メ西伯利亞地方ニ向シテ之ガ輸出ヲナシ、或ハ柑橘ノ如キハ遠ク亞米利加地方マデ輸出ヲスルコトヲ云フヤウナ狀況ニナシテ居ルノデゴザイマス、而シテ此實際ノ當業者ノヤルトコロヲ見マスル、種田ノ選擇カラ或ハ害虫ノ驅除ノ如キニ至リテモ最モ缺如スル處ガ多イデアアル、彼ノ養蠶業ノ如キハ非常ニ發達ヲ致シテ居リマスモノ、其理由ヲ考ヘテ見マスル、養蠶講習所ノ如キ、或ハ各府縣、此養蠶業地ニ於テハ養蠶學校ノ如キモノヲ造リ、以テ此學理ヲ實地トヲ研究致シマシテ、之ニ該當スルコトヲ技術者ガ多數ニ出來テ居ルト私ハ信ズル、其技術者ガアジテ始メテ此事業ノ發達ヲ見ルコトガ出來ルノデアアル、此園藝ニ付キマシテハ唯一ツノ國立試驗場

ガ一ヶ處アルノミニ致シマシテ、各府縣ニ互ッテ居ルトコロノ園藝場ニ向ッテ貢獻スルコトヲ技術者ト云フモノガ、甚ダ不足致シテ居ルト私ハ信ズルノデゴザイマス、故ニ此園藝ヲ致シマシテ、尙一層ノ進步發達ヲ圖ラシムルニハ、勢ヒ之ニ要スルコトヲ技術者ヲ養成シナケレバナラヌデアアル、一昨年ニ於テ静岡縣農會ガ開催致シマシテ、園藝大會ヲ開キマシタコトガアル、全國ノ農會ニ於テハ物ノ響キニ應スルガ如ク御贊同ヲ得テ、盛大ナル研究會ヲ開イタノデゴザイマス、又昨年ニ於テ岡山縣農會ノ主催ニ於テ第二回全國園藝大會ヲ開イタノデゴザイマス、其園藝大會ニ於テハ此園藝學校ヲ設立スルコトヲ決議ヲ致シマシテ、之ヲ當局ニ向ッテ建議致シタ次第デゴザイマス、併ナガラ今以テ之ガ實行ヲ見ルコトニハ參ラヌノデゴザイマス、私ノ考ヘマスルニハ園藝學校最モ可ナリ、併ナガラ今日ノ急務ト致シマシテハ、成ルベク速成ナルコトヲ技術者ヲ養成スルノ必要ガアリト信スルデアリマス、故ニ園藝試驗場ノ附近ニ於テ園藝講習所ヲ設置致シマシテ、而シテ一方ニ於テハ此園藝ノ試驗ヲ爲シ、一方ニ於テハ之ガ實業者即チ技術者ヲ養成スルコトヲ云フコトガ、今日最モ急務ナルコトヲ事業デアラウト私ハ信ズル、諸君モ御承知ノ如ク我國ノ今日ノ農業者ノ狀態ハ、大ニ攻究ヲ要サナケレバナラヌコトヲ時代デアルト思フ、此農業者ヲシテ益々發展セシムルニ付テハ、普通ノ農業以外ニ於テハ、此園藝ノ如キ、或ハ養蠶ノ如キ、或ハ製茶ノ如キ、各種ノ副業ヲ盛ニ致サナケレバナラヌデアアル、故ニ政府ニ於テハ須ラク之ガ施設ヲ爲シテ、來ル四十二年度ニ於テハ此園藝講習所ヲ試驗場ノ附近ニ設置セラレムコトヲ希望スル、次第デゴザイマス、斯ノ如キ理由ヲ以テマシテ此案ヲ提出致シマシタ次第デゴザイマス、我農業者ノタメニ滿堂諸君ノ御贊成ヲ以テ、此結果ヲシテ十分ナルコトヲ效果ヲ奏セシメラレムコトヲ希望ニ堪ヘヌ次第デゴザイマス、一言茲ニ提出ノ理由ヲ述ベマス

○恆松隆慶君 本案ハ九名ノ委員、議長指名付記セラレムコトヲ希望致シマス

○議長(長谷場純孝君) 恆松君ノ動議、本建議案ハ議長指名九名ノ委員ニ付託スルコトニ御異議アリマセヌカ

(「異議ナシ」ト呼フ者アリ)

○議長(長谷場純孝君) 御異議ガナシト認メマスカラ其通り決シマス、次ハ第十九、鐵道建設ニ關スル建議案ヲ議題ニ供シマス、議案ノ朗讀ヲ省略シマス、長晴登君

第十九 鐵道建設ニ關スル建議案(長晴登君外四名提出)

鐵道建設ニ關スル建議案

一福島縣下郡山ヨリ分岐シテ三春町、小野新町ヲ經テ平町ニ接續スル鐵道右鐵道ハ産業ノ發展交通ノ不備ヲ補ハムカ爲急設ヲ要スルモノト認ム依リテ政府ハ速ニ調査ヲ遂ケ相當ノ處置ヲ執リ建設ニ著手アラムコトヲ望ム
右建議ス

○長晴登君 簡單デゴザイマスカラ此席カラ申上ゲマス、是ハ丁度舊日本鐵道本線ト岩越線トヲ接續サセマシテ、北國ノ方ニ延ビルトコロノモノデ、之ヲ片手ト見レハ海岸線ハ東方大洋洋トノ交通ヲ圖ルトコロノ即チ片手ノ線デゴザイマス、此連絡ヲ致シマシテ、而シテ此地方ノ便利ヲ圖リタイト云フ趣意デゴザイマスカラ、ドウゾ審議ノ上御贊成ヲ願ヒマス

(「贊成々々」ト呼フ者アリ)

○恆松隆慶君 本案モ九名ノ委員、議長指名アラシムコトヲ望ミマス

○議長(長谷場純孝君) 恆松君ノ動議、本建議案ハ議長指名、九名ノ委員ニ付託スルコトニ御異議アリマセヌカ
(「異議ナシ」ト呼フ者アリ)

第二十 地租輕減三關及八建議案（長晴登君外四十四名提出）

地租輕減二關スル建議案

政府ハ速ニ財政及稅制ヲ整理シ第一ニ地租ヲ輕減セラレムコトヲ
右建議ス

〔長晴登君登壇〕

○長晴登君 本案ハ既ニ分り切ツタヤウナ問題デ、私ハ別ニ御説明申サヌデモ宜シイ位ニ思ヒマス、且又斯ノ如キ寂寞ノ議場ニ於テ別段ニサウ熱心ニヤル程ノ勇氣ヲ私ハ持チマセヌ、併ナガラ問題ガ大キイカラシテ或ル理由ヲ相當ニ御話スルノ義務ガアラウト思ヒマスカラシテ、ツレダケヲ申ス次第デアリマス、本案ノ趣旨ハ即チ此非常特別稅中ニ於ケルトコロノ地租ニ對シテ、或ル程度マデ第一著ニ輕減ヲシテ貫ヒタイト云フ趣意デゴザイマス熟シ今ノ世ノ中ヲ見ルニ政府ハドウ云フ御考デ今日御出デニナルカト云ヘバ、財政整理ニ對シテハ一般ニ對シテハ恰モ破産ノ會社ノ清算人ノ如ク、總テコトヲ何ヤツテ居ルハ譯ガ分ラヌノデアル、而シテ唯一部積極的ノ方針ヲ執ツタモノハ公債ノ鈞上策、果シテ公債成効スルカ否ヤハ分ラヌケレドモ、之ガタメニ金マデ使ヒ、又稅源モ少シテハ減ジテモ公債ノ鈞上策ニ對シテハナカノ勇氣デアルケレドモ、一方一般ニ對シテハ殆ド破産社會ノ清算人ノ如ク、吾ミカラ見レバ詰ラヌコトヲシテ御出デニナルデハアルマイカト思フ位デアラウザイマス、又一方民間ノ人々ノ諸君ヲ見レバ、非常特別稅ノ中ニ於テハ種々ナルモノヲ含シテ、餘程調査研究ヲ要センケレバナラヌデアラウト私共ハ信スル處ニ、非常特別稅ト云フコトハ三稅デアルカノ如クニ、唯三稅ニミ御熱心ニナリ、又惡稅ト云フ名前ヲ勝手次第ニ御付ケ遊バシテ、サウシテ三稅ノ廢止ヲスレバ、日本ノ國家ハ即チ泰山ノ安キニテモ置カル、デアラウト云フヤウナ、一方ノ方ニ氣違フ如キ御熱心ヲ以テ御遣リニナルケレドモ、他ノ方面ニ對シテハ少シモ御注意ガナイノデアル、併シ之ハ即チ一方ニ商業會議所トカ、或ハ織物業組合トカ、大分旅費日當ヲ取ツテ、何カ運動ヲセラレルトコロノ人々ガ澤山アルカラシテ(ノウク)是等ノ人々ノ詰リ聲ハ聞エルケレドモ、一般多數ヲ占ムメテ居ルトコロノ國ニ忠良ニシテ、而モ穩健ニ堅實デアルトコロノ農民ニ對スルトコロノ狀況ノ御調査ニ付テハ、甚ダ迂遠ニナツデハ居ラヌカト云フコトヲ常ニ遺憾ニ思フ所以デゴザイマス(ノウク)「拍手起ル」私ノ此案ハ詰リ第一ニ此農民ハ國ノ中デ最モ多數ヲ占ム、即チ是等ハ國ノ要素トシテ經濟上ニ於テモ、或ハ軍備ニ取ツテ見テモ、多數ノ農民ノ子弟ハ其キトコロノ兵卒トナリ、ツレノ役目ヲ勤メル上ニ於テハ、缺クベカラザルモノデアッデ、之ニ對スル政策ハ頗ル重要ナルモノデアアルト云フコトヲ信ズルモノデゴザイマスルガ、之ニ對シテハ私ハ第一著ニ此地租ノ輕減ヲ計リタイト云フノガ本案提出ノ趣旨デアデゴザイマス(「ヒヤク」)「拍手起ル」第一ニ於テ之ヲヤルト云フコトハ、減輕シタ結果ハ如何デアラウカト云ヘバ、大多數ノ日本國民ノ負擔ヲ輕減スルト云フコトニナルノデゴザイマス、第二ニ於テ此地租ヲ輕減シタ結果ハ國民ノ生活狀態ニ善キ影響ヲ及ボスデアラウマス、第三ニ於テ此地租ヲ輕減シタ結果ハ國民ノ生活狀態ニ善キ影響ヲ及ボスデアラウト私ハ感ズル次第デゴザイマス、千田君ノ如ク間接ニ人爲ヲ以テ物ノ代價ヲ殊更ニ高クシテ而シテ保護スルト云フヤウナ、私カラ見レバ愚論デアルト云フヤウナ議論ト同一デハバゴザイマセヌ、(「ヒヤク」)「即チ保護スル、此負擔ヲ輕クセシムルナラバ直接ナルトコロノ方ヲ以テヤリタイト云フガ此本案ノ趣旨デゴザイマス、又第三ニ於テ此國ハ即チ使ハヌデモ備ヘテ置クト云フダケノ力ト云フモノガアリテ、初メテ國ノ直打ガアルノデアル、即チ軍備ニ於テ見テモ戰爭ハ望ムベカラザルモノデアアル、併ナガラ軍備ハ必要デアルカノ如ク、國ノ實力ト云フコトニ付テモ金ガアッテ初メテ國ノ直打ガアルト云フコトハ明カデゴザイマスカラ

シテ、我國モ平時ニ於テ彈力ノアルトコロノ財源ヲ保留スルト云フコトハ今日ニ於テハ斯ク世界ノ上ニ國ヲ建テ、打テバ響クト云フトコロノ豫備のノ稅源ヲ保留スルト云フコトハ、チ一朝有事ノ日ニハドウニモ出來ルト云フトコロノ豫備のノ稅源ヲ保留スルト云フコトハ、我日本國ニ於テハ今日及今日以後ニ於テモ倍々急テアラウト私ハ信ズル次第デアル、果シテ然ラバ此點ニ於テハ地租ハ最モ適當ナルモノデアルカラシテ休養ノ目的ヲ以テ今日之ヲ輕減シ、而シテ一朝事アルトキニハ直チニ眞ッ先ニ之ヲ取ツテ以テ其費用ニ充テルタメニ豫備ヲ付ケルト云フコトハ此稅ヲ措イテ外ニナイカラシテ今ニ於テ第一著ニ休養シタイト云フ本案ノ趣旨デゴザイマス、斯ウ申シタナラバ必ズ言ハシ、其時ハ如何ニスルカ、其額ハ如何ニスルカ、何故ニ法律案トシテ出サヌノデアルカ、是ハ必ズ出來ル、併ナガラ私共ハ三稅廢止論者ノ云フカ如キ勇氣ハ持ツコトが出來ヌノデアル、彼等ノ人ハ三稅以外ニ目ガナササウニ見エルカラシテアノ通り熱心ニナルノハ無理ハナイケレドモ（ノウ／＼）ノウ／＼デモ宜シイ、ノウ／＼ガアルカラ此案ヲ出シタノデアル、ウレデシマフヤウナレバ私ハ出サヌノデアル、君方ノウ／＼ガアルカラシテ、殊更ニ此案ヲ出スノデアル（ノウ／＼）「餘計ナ事ヲ言ハズニ眞直ニ言ヘ」ト呼フ者アリ（即チ吾々ハ穩健ナル考ヲ以テ適當ナル時機ヲ擇ビ而シテ出來ルダケノ額ニ於テ之ヲヤルト云フノデアル、彼ノ三稅論者ノ如ク無責任ナルトコロノ即チ無責任トハ內心ニ於テハ知リツ、平氣デヤルト云フヤウナ勇氣ハ持タヌノデアルカラシテ、即チ吾々ハ以上ノ理由ニ依ツテ十分之ヲ詮議シ而シテ適當ナル時機ニ於テ適當ナル額ヲ定メテ而シテ第一著ニ於テ地租ヲ輕減スルト云フダケノ主義ハ一貫シテ以テ將來ノ稅制整理、財政整理ノ根柢トシテ此方針ヲ以テ進マンガタメニ此建議案ヲ提出シタ次第デゴザイマス、御贊成アラフコトヲ希望シマス（拍手起ル）

○ 恆松隆慶君 本案ハ曩ニ特別三稅案ガ委員ニ付託シテアリマス、其委員ニ此案モ付託セラレフコトヲ望ミマス

○議長(長谷場純孝君) 慟議ハ、即チ非常特別税、法中改正法律案外ニ、件ノ特別委員ニ付託スルト云フ意味デアリマスカ

○惱松降慶君 左様デコサイマス
○議長(長谷場純孝君) 卽チ惱松君ノ動議ノ如ク、本案ヲ曩ニ付託サレマシタ非常特別稅法中改正法律案外ニ件ノ委員ニ付託スルト云フコトニ御異議ハアリマセヌカ

○議長(長谷場純孝君) 御異議ナイト認メマスカラ其通決シマス——日程第二十
一、教育基金塩補ニ關スル建議案ヲ議題ト致シマス——委員長荒川五郎君

第二十二

教育基金填補ニ關スル建議案（荒川五郎君外四名提出）
（委員長報告）

〔荒川五郎君登壇〕

○荒川五郎君 教育基金填補ニ關スル建議案委員會ノ報告ヲ簡單ニ致シマスル、委員會ニ於テハ文部大臣ノ出席ヲ求メテ當局ノ所信ヲ聞キマシテゴザイマスルガ、文部大臣ニ於テハ勿論此議ニ反對ノアラウ譯ガゴザイマセヌ、曩ニ之ヲ使用シテ以來、常ニ填補シタイト云フ精神ハ持ツテ居ッタノデアル、現大臣ニ至ツテモ熱心ニ其希望ヲ持チ、其手續ニハ注意ヲシタノデアルケレドモガ、如何セン此財政困難ノ場合其遺練リガ付クコトガ出來ズシテ今ニ填補ヲ見ルニ至ラナイノハ甚ダ遺憾トスルトコロデアル、今後ニ於テ必ズ此填補ノ目的ハ達スルヤウニ努ムルト云フ文部大臣ノ答辯デゴザイマス、次イデ總理大臣兼大藏大臣ノ出席ヲ求メテ聞キマシタ、所ガ總理大臣兼大藏大臣ニ於テモ此教育基金ナルモノハ教育ノタメニ設ケタモノデアル、之ヲ國家一歩ヲ進メバ墜チルカ上ルカト云フ場合デアアルカヲ止ムナクシテ使フタノデアル、從デ之ヲ埋戻シマスルト云フコトハ其責任ア

ルト云フコトヲ確カニ承知致シテ居ル、是非填補シタイト云フ精神アルガ之モ文部大臣ノ言ハル、通りニ如何ニト云フモ今日ノ場合合アルカラ遂ニ其填補ガ出來ナイテ是マデ至ラト云フコトハ甚ダ遺憾トスルコトアル、テ今直チニ此案ニ對シテ具體的ニドノヤウニ填補ノ法ヲ執ルト云フコトハ明言スルコトハ出來ナイケレドモ、日清戰爭ニ於ケルガ如ク日露戰爭ニ於テモ教育ノ結果ハ確ニ認ムル、テ國家政治ヲ料理スル上ニ於テ國民教育ノ大切ナルコトハ之ニ向テ十分ニ力ヲ盡スベキコトハ夙ニ心ニ懸ケテ忘レヌ處デアルカラ、此場合直チニ具體的ノ案ヲ言ハル、コトハ困ルケレドモ、之ハ是非填補ノ途ヲ講ズル、ソレニ向テハ適當ノ法ヲ執ルト云フコトヲ——執リタイト云フノ赤心ハ即チ此委員會一般ノ希望ト決シテ異ナラヌデアルカラ、是非此目的ヲ達スルヤウニ努メタイト、其理由トシテ總理大臣兼大藏大臣ガ普通教育ニ關スル意見、並ニ是マデツレ等ニ付テ執ラレタルコト、並ニ教育上一般ノ問題ニ付テ十分ニ大臣ノ所信ヲ説明セラレマシテ、委員會ニ於テハ其十分ナル説明ヲ深ク諒シテ必ズ速ニ其言ハレタルガ如ク、填補ノ目的ヲ達セラル、ヤウニト云フ希望ヲ以テ全會一致テ可決致シマシテゴザイマス、抑此教育基金ノ問題ハ日清戰爭ノ起タ、全體ナラバ日露戰爭ニモ第二ニヤハリ其位ノ金ガ出テ宜イデアリマスケレドモ、今日ノ場合教育者トシテソコマデハ望ンデ得ラレナイノデアリマスカラ、是非之ハ埋戻ラシテ貰ヒタイ、愈々今日財政ヲ整理ラシテ公債ノ償還ノ年限ヲ縮メラル、ト云フコトデ、是等モ一ツノ廣義ニ解釋スレバ國家ノ公債借入ノ中デアリマスカラ之ハ最も速ニ填補セラレタイト云フノデゴザイマシテ、ドウカ滿堂ノ御賛成ヲ得テ可決アラントラ希望致シマス

〔異議ナシ〕採決々々ト「呼フ者アリ」

○高木正年君 簡單ニ此處デチヨット申シテ置キマス、本案ハ唯今委員長ノ申サレタ通り別ニ反對ノ意志ヲ表スル人ハナイノデアラデ、此場合言フベキ必要ガナイヤウニ考ヘマスルガ、成ルベクハ一層國民ノ聲ヲ大キクシテ政府ニ要求シテ置キタイト私ハ思フ、何故ニ左様申シマスカト云フト、政府ハ強力ナル要求ノアルモノニ付テハ補填シ、要求ノ力ナキモノニ對シテハ補填シナイト云フコトハ、教育基金ガ今日マデ補填サレテ居ラヌ實例アル、之ハ三基金ノ中デ海軍ニ於ケル水雷ニ關スル補充基金ノ如キハ特ニ補填セラレテアル、獨リ此教育基金ガ補填セラレナイト云フコトハ即チ要求ノ力小ナリトシテ政府ハ之ヲ斥ケテ居ラル、ト云フコトハ事實アル、本年ニ於テモ之ニ補填スル財源ガナイノデハナイ、現ニ過日豫算委員會ニ於テ海軍ニ於テ八百八十萬圓ノ工廠基金ノ公債ノ如キハ確ニ此殘餘ヲ以テ教育基金ニ補填スルガ最も適當ナルベキガ、之ハ賣ツテシマツテ財源ニ入レテアルト云フコトデ、又其他ニ於テ一定歲入ニ依ツテ爲スベキ其歲入ヲ削ルト云フコトハ出來ニクイノデアラガ、臨時ノ場合ニ政府ニ入ルベキ金ガアツタナラバ、教育基金ハ補填シテ適當ナル、彼ノ貨幣整理基金ノ如キハ強チ收益ノ目的デ貨幣ヲ整理シタノデハナイ、本年ニ於テモ貨幣整理基金ガ八百萬圓ノ財源ガアルノデアラ、教育基金ハ強チ元金ヲ消費スルノデハナイ、此貨幣整理基金ヲ教育基金ニ繰入レテ其金ヲ鐵道ニ借入レテモ一向差支ナイ、斯様ニスレバ四十萬圓ト云フノハ直チニ教育基金ノ利益トナツテ之ガ全國ノ教育ニ利益ヲ與フルノデアリマス、ソレ故ニ政府ハ爲ス能ハザルニアラズシテ、即チ爲スノ意ナキナリト此案ニ付テハ言ハネバナラヌノデアラ、尙本年ニ若シ元金ノ幾分ヲ補充スル力ナケレバセメテモ五十萬圓デモ二十五萬圓デモ、教育ノ上ニ對シテ是ダケノ金ヲ政府ノ出スト云フコトハ極ク輕易ナ仕事デ出來ル、政府ハ公債所有者ヲ保護センガタメニ公債ノ利子ニ對シテ所得稅ノ免除スラ行フテ居ル、斯様ニ一方ハ曲庇シナガラ、我國ノ將來ニ於テモ既往ニ於テモ、最も國ノ發達ニ利益アル是非トモナサネバナ

ラヌ教育基金、若クハ教育基金ヨリ生ズル利子ヲ補填シテ、之ヲ教育家ニ與ヘテ其發展ヲ期スルト云フコトニ付テハ、洵ニ政府ノ處置ガ緩慢デアルト言ハネバナラヌ、是ニ於テ私ハ國民ノ聲ヲ大ニシテ此教育基金補填ノコトヲ、殊ニ贊成ノ聲ヲ高メテ此席ヨリ申ス次第デアリマス（拍手スル者アリ）

○松本隆慶君 委員長報告通り……

○議長（長谷場純孝君） 委員長報告通り御異議アリマセヌカ

〔異議ナシ〕「呼フ者アリ」

○議長（長谷場純孝君） 委員長報告通り御異議ハナイト認メマスカラ、本建議ハ採用スルコトニ決シマス、御諮リヲ致シマス、非常特別稅法中改正法律案外三件ノ委員渡邊勘十郎君病氣ノタメ辭任ノ申出デアリ、許可シテ差支アリマセヌカ

〔異議ナシ〕「呼フ者アリ」

○議長（長谷場純孝君） 差支ナケレバ其補缺トシテ長島鷲太郎君ヲ指名致シマス、松家徳二君ヨリ今日ヨリ十一日マデ十日間、青木新治郎君モ二日ヨリ十一日マデ二週間各請假ノ願出デアリマス、許可シテ差支アリマセヌカ

〔異議ナシ〕「呼フ者アリ」

○議長（長谷場純孝君） 御異議ハナイト認メマスカラ許可スルコトニ致シマス、是ヨリ諸般ノ報告ヲ致シマス

（書記朗讀）

一政府ヨリ提出セラレタル議案左ノ如シ

（第一號）明治四十二年度歲入歳出總豫算追加案

（特第一號）明治四十二年度特別會計歳入歳出豫算追加案

特許法改正法律案

意匠法改正法律案

商標法改正法律案

實用新案法改正法律案

一議員ヨリ提出セラレタル議案左ノ如シ

戰鬪員以外ノ殉難者遺族及廢疾者救済ニ關スル建議案

提出者 的野 半介君

上埜 安太郎君

韓國橫貫鐵道敷設ニ關スル建議案

提出者 金尾 稜嚴君

佐藤 虎次郎君

木村 省吾君

豫算ノ款項改正ニ關スル建議案

提出者 田川 大吉郎君

○議長（長谷場純孝君） 次回ノ日程ハ公報ヲ以テ御通知致シマス、本日ハ是ニテ散會致シマス

午後四時二十二分散會